Linking your dreams
リンテック株式会社

ESG Data Book 2024

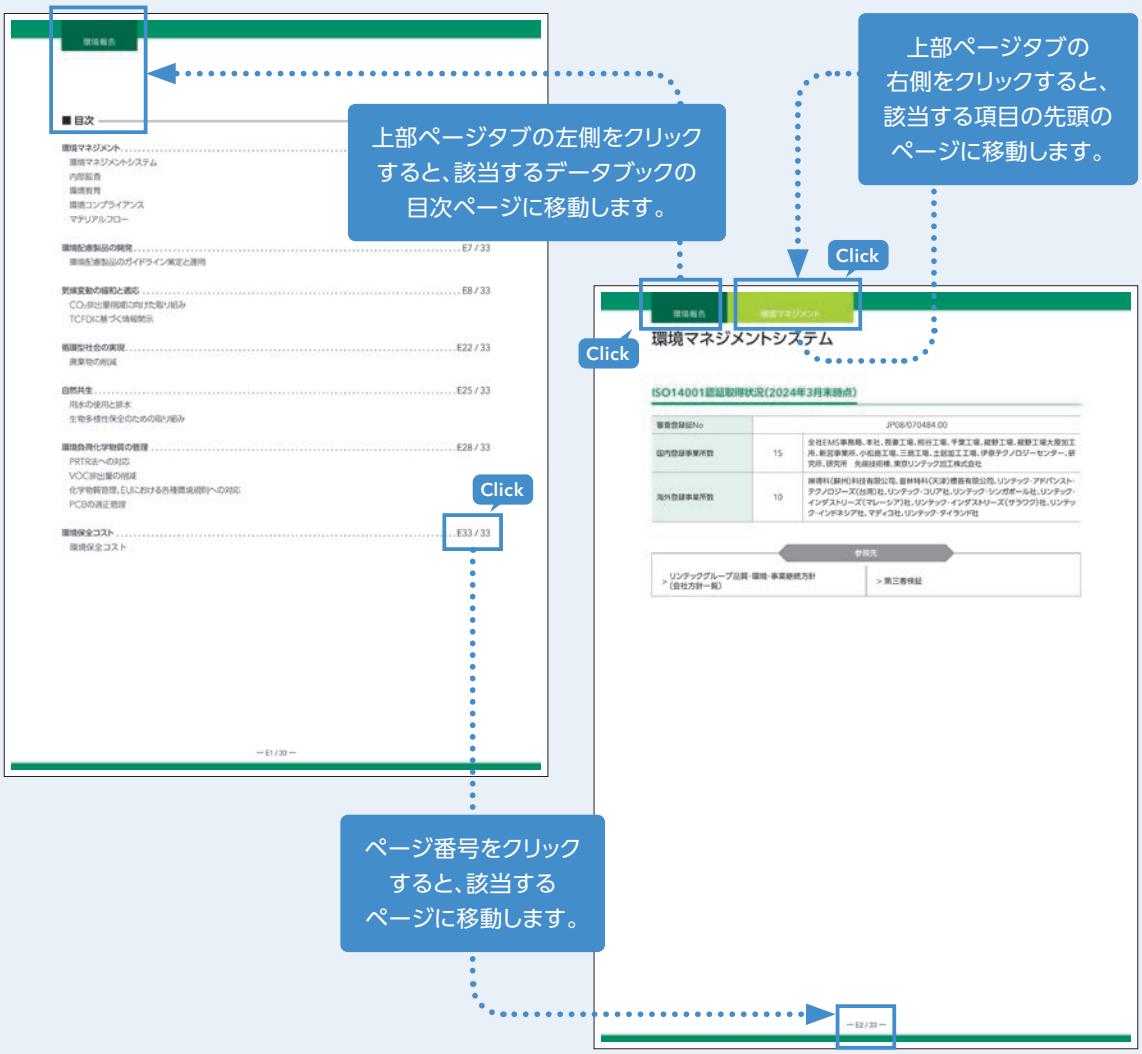
■ 総合目次

環境データブック ..... E1 / 33

社会性データブック ..... S1 / 29

ガバナンスデータブック ..... G1 / 3

■ 使い方



■ 目次

環境マネジメント . . . . . E2 / 33
環境マネジメントシステム
内部監査
環境教育
環境コンプライアンス
マテリアルフロー

環境配慮製品の開発 . . . . . E7 / 33
環境配慮製品のガイドライン策定と運用

気候変動の緩和と適応 . . . . . E8 / 33
CO_2排出量削減に向けた取り組み
TCFDに基づく情報開示

循環型社会の実現 . . . . . E22 / 33
廃棄物の削減

自然共生 . . . . . E25 / 33
用水の使用と排水
生物多様性保全のための取り組み

環境負荷化学物質の管理 . . . . . E28 / 33
PRTR法への対応
VOC排出量の削減
化学物質管理、EUにおける各種環境規則への対応
PCBの適正管理

環境保全コスト . . . . . E33 / 33
環境保全コスト

環境マネジメントシステム

ISO14001認証取得状況（2024年3月末時点）

審査登録証No	JP08/070484.00	
国内登録事業所数	15	全社EMS事務局、本社、吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、龍野工場大屋加工所、新宮事業所、小松島工場、三島工場、土居加工工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、研究所　先端技術棟、東京リンテック加工株式会社
海外登録事業所数	10	琳得科（蘇州）科技有限公司、普林特科（天津）標簽有限公司、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ（台湾）社、リンテック・コリア社、リンテック・シンガポール社、リンテック・インダストリーズ（マレーシア）社、リンテック・インダストリーズ（サラワク）社、リンテック・インドネシア社、マディコ社、リンテック・タイランド社

参照先

> リンテックグループ品質・環境・事業継続方針（会社方針一覧）

> 第三者検証

内部監査

内部監査員・相互監査員資格者数

	対象範囲	2023年度
内部監査員資格者数	ISO14001国内登録事業所	461
相互監査員資格者数	ISO14001国内登録事業所	77

内部監査：拠点内でその拠点に所属する者が行う監査
相互監査：異なる二つの拠点がほかの拠点に行う監査

内部監査実施状況

	2023年度
国内	ISO14001国内登録全事業所
海外	ISO14001海外登録全事業所

環境教育

環境教育一覧（国内）

開催内容	2023年度延べ参加人数
認識教育	5,603
法令教育	91

リンテック環境・安全インフォメーション発信実績

2023年度（件数）	21

▼ 発信例

2023.4.17 環境部 E23-001

環境トピックス

環境ニュース

リンテック蘇州の天平山中峰寺植樹活動

2023 年 3 月 11 日、蘇州新区天平山中峰寺にて、蘇州新区楓橋街組合主催の植樹活動として紅梅、海棠（カイドウ）を 200 本植樹しました。楓橋街の所属企業、組合から 400 人程度、リンテック蘇州からは 40 名（従業員 17 人、家族 23 人）が参加しました。

リンテック蘇州植樹集合写真

リンテック蘇州

天平山中峰寺

植樹作業

子供植樹サイン

紅梅の花

海棠の花

リンテック蘇州は、これからも生物多様性の保全活動を通じて生態系保護に貢献していきます。

以 上

2024.2.14 環境部 E23-021

環境トピックス

環境ニュース

生物多様性活動：新宮サイト「原木シイタケ育成」⑤

育成箱の作成と本伏せと収穫

＜前回までの作業＞

植菌後、植菌の穴（植菌孔）と種菌を乾かさないために、毎日、朝夕と水散布を行い、「仮伏せ」を実施。（仮伏せ実施期間：2023 年 4 月 16 日～6 月 7 日）

＜育成箱の作成＞

原木シイタケ育成の望ましい環境は、直射日光が当たらず、十分に雨が当たり、かつ通風が適度にあり、排水の良い場所になります。しかし、新宮事業所内に適当な場所がなく、育成に必要な環境を確保するため、育成箱を作成。

・骨組み材料は、木材廃パレットをリサイクル活用（一部ではありますが・・・。）
・外面は、遮光シートを貼付け

＜本伏せ＞

仮伏せしていたほだ木の麻布を取り除きます。

●ほだ木の状態

・右側写真②のほだ木は、麻糸紋が木口断面に残れ、

＜ほだ木管理＞

●水やり

木がしっとりと湿る

行き渡らせます。水

～11 月迄は、ほぼ

●天地返し

上下の水分差を均一

がありますが、ほだ木

●冬場の管理

冬の寒さによりほだ木が凍ったり、霜が降りたりすることは、あまり良くない環境であるため、水やりをほぼ毎日していましたが、凍結リスクの低減と、春までになるべく菌糸の伸長を促すため、保温と保湿を目的として、ほだ木をビニール袋で置い、水やりは状態を見ながら、2 回/週程度で、ほだ木の樹皮全体が濡れるように散水管理を実施。

2023 年 12 月 26 日時点の写真
ほだ木をビニール袋で覆った状態。

（参考：屋外の場合、北風などの寒風に当たらない、暖かく温度があり、雨の当たらない場所に置く）

●時季外れですが、シイタケ生えました！！

2024 年 1 月 19 日に確認したところ、シイタケが 1 本生えていることを確認。

昨年実施の冬場対策としてほだ木をビニール袋で覆ったことで結果、生育に適した環境になったと推測されます。

＜シイタケサイズ＞
幅：約 4cm
長さ：約 7cm

2024 年 1 月 22 日に収穫。（かさの部分に少し痛みが見受けられたため、速めに収穫）

＜収穫時シイタケサイズ＞
幅：約 5cm
長さ：約 9cm

＜食べた感想＞

収穫したその日に持ち帰り、オーブントースターで焼き醤油を少々かけていただきました。適度な歯ごたえとシイタケ特有の香りが鼻から抜けていき「これぞシイタケ」という感じでした。

「以降、1 月 29 日時点でシイタケは生えておらず、今年の春先に期待」 以上

環境コンプライアンス

重大環境法令違反件数

2023年度は、以下拠点*において重大環境法令違反（罰金や制裁措置）はありませんでした。

＊ 本社、吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、小松島工場、三島工場（土居加工工場）、伊奈テクノロジーセンター、研究所、東京リンテック加工（株）

マテリアルフロー

2023年度マテリアルフロー

INPUT

■ 原材料

パルプ……73.5千t
紙……36.5千t
フィルム……25.1千t
粘着剤……18.6千t
剥離剤……2.0千t
有機溶剤……6.7千t
その他薬品……30.5千t
機械部品など……0.6千t

■ エネルギー

購入電力……155千MWh★
（原油換算……35千kl）
化石燃料（原油換算）……35千kl
非化石燃料（原油換算）……6千kl
購入蒸気（原油換算）……1千kl

■ 水

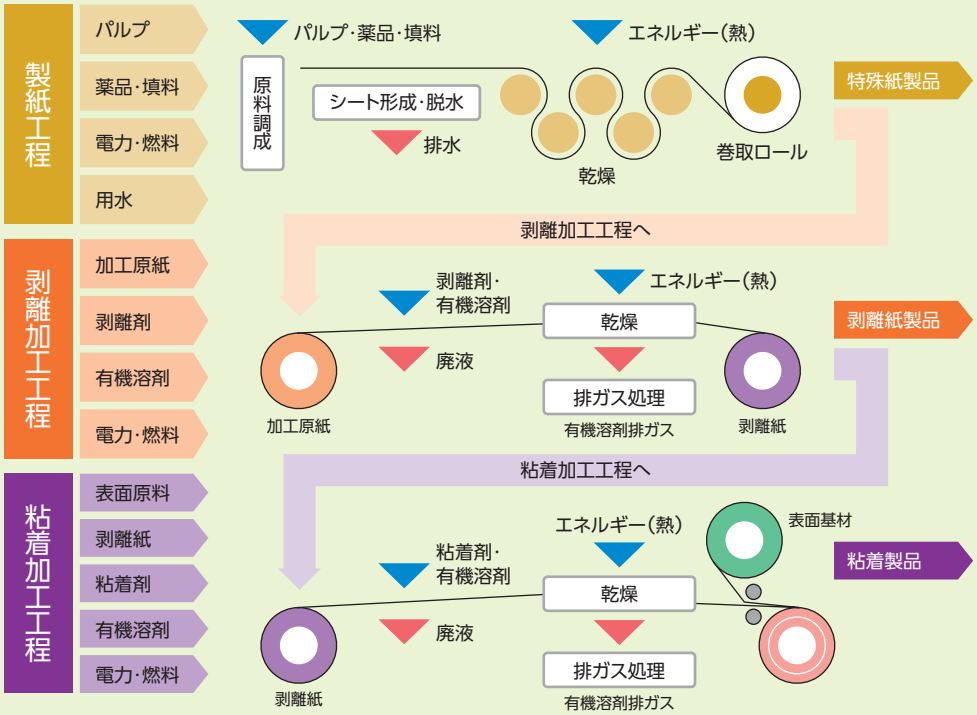
用水……7,831千m³★

自家発電電力（コージェネ発電分）……12千MWh
自家発電電力（自家消費型太陽光発電）……4千MWh
（原油換算……3千kl）

リンテックの事業活動

粘・接着製品
特殊紙
加工材
粘着関連機器の製造・販売
研究開発
本社事務など

主要製品の製造工程



OUTPUT*1

■ 製品

特殊紙……57.3千t
加工材（剥離紙など）……26.0千t
粘・接着製品……95.1千t
粘着関連機器……0.6千t

■ 廃棄物

廃棄物発生量……25.6千t★
- 有価物販売量……7.9千t
- 社内有効利用量……7.3千t
- 社外有効利用量……6.6千t
- 焼却量……3.7千t
- 最終埋立量……0.1千t

■ 大気排出

CO_2（二酸化炭素）……86.4千t*2
SO_x（硫黄酸化物）……7.2t
NO_x（窒素酸化物）……98.2t
ばい塵……2.5t
PRTR対象物質……346t

■ 水域排出

排水……4,766千m³★
（熊谷工場・三島工場）

CO_2排出量の内訳*2

- スコープ1……70.7千t-CO_2★
- スコープ2……28.1千t-CO_2★
- 無効化された国内認証排出削減量……12.4千t-CO_2★

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら
*1 OUTPUTには内販は含んでいません。
*2 湘南リンテック加工（株）、リンテックサービス（株）を含んで算定しています。
対象範囲：リンテック（株）および東京リンテック加工（株）

環境配慮製品のガイドライン策定と運用

環境配慮製品の開発件数

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
30	59	69	81	40	52

対象範囲：リンテック(株)

製品事例

参照先

> [ニュースリリース] 環境意識の高まりに応えるフッ素樹脂不使用の耐油紙を発売
※ トピックスページ内に移動します。

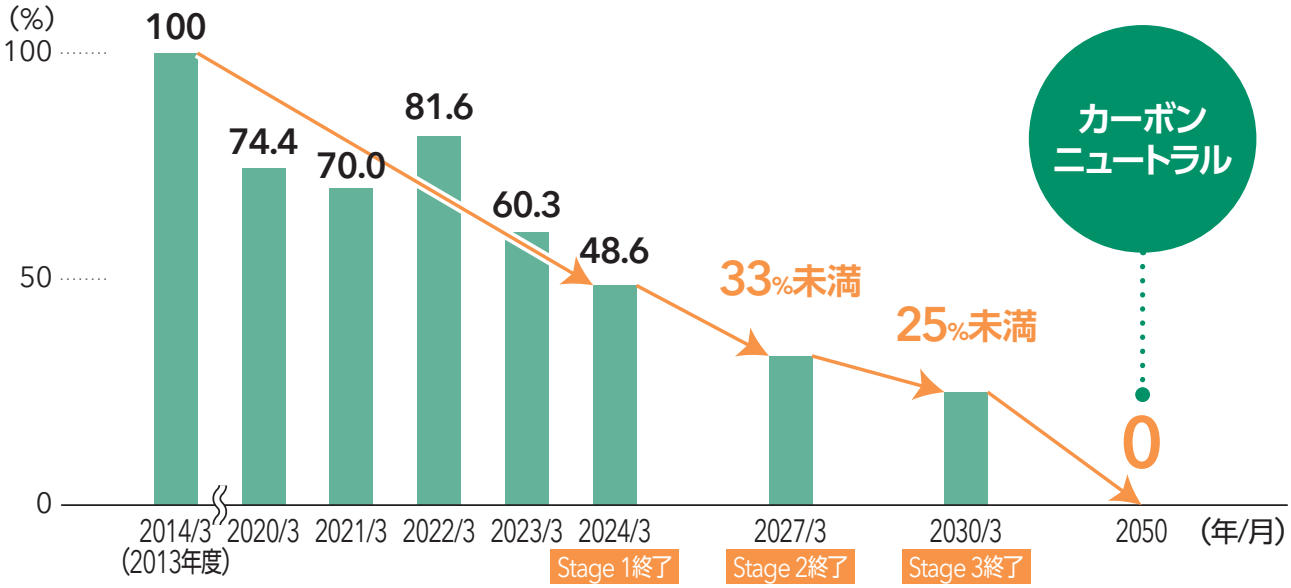
> 当社環境配慮ラベル素材がラベルインダストリーグローバルアワードを受賞
※ トピックスページ内に移動します。

CO_2排出量削減に向けた取り組み

- **リンテックグループのCO_2排出量ロードマップ**
- **エネルギー総使用量とCO_2排出量**
  - 購入したグリーン電力
  - 非化石エネルギー比率
  - エネルギー総使用量（原油換算）
  - スコープ1、2
  - スコープ3
- **各種取り組み**
  - 省エネルギー法への対応
  - 太陽光発電システム導入実績
  - コージェネレーションシステムの導入実績
  - フロン漏洩に向けた取り組み
  - 物流における取り組み

リンテックグループのCO_2排出量ロードマップ

▼ スコープ1、2に対する目標（2013年度を100%とした場合）



エネルギー総使用量とCO_2排出量

購入したグリーン電力

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
グリーン電力購入分(GWh)	36	34	35	80	91
熱量換算値(千GJ)	352	335	342	778	790
グリーン電力による削減効果(千t-CO_2)	16.9	16.1	16.0	33.8	41.0
省CO_2投資による削減効果(t-CO_2) (2019年度からの累積値)	43	2,774	7,140	9,372	14,208

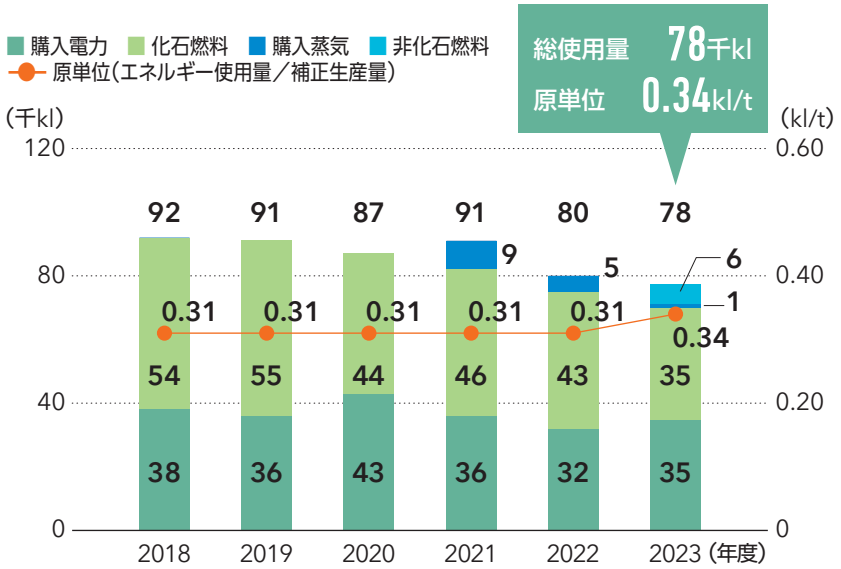
※ 省エネ法(排出事業者係数)基準で算出。
※ 省エネ法(温対法)基準で算出。
対象範囲：リンテック(株)およびリンテック(株)の営業拠点、リンテックサインシステム(株)(リンテック(株)本社敷地内分)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)(リンテック(株)伊奈テクノロジーセンター敷地内分)、東京リンテック加工(株)

非化石エネルギー比率

2022年度	2023年度
29.60%	35.05%

※ 省エネ法の改正により2023年度より非化石エネルギー(RPF)を追加。
対象範囲：リンテック(株)およびリンテック(株)の営業拠点、リンテックサインシステム(株)(リンテック(株)本社敷地内分)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)(リンテック(株)伊奈テクノロジーセンター敷地内分)、東京リンテック加工(株)

エネルギー総使用量（原油換算）



※ 省エネ法の改正により2023年度より非化石エネルギー（RPF）を加味。
対象範囲：リンテック（株）およびリンテック（株）の営業拠点、リンテックサインシステム（株）（リンテック（株）本社敷地内分）、湘南リンテック加工（株）、リンテックサービス（株）、リンテックカスタマーサービス（株）（リンテック（株）伊奈テクノロジーセンター敷地内分）、東京リンテック加工（株）

スコープ1、2

国内

単位：t-CO_2

	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
スコープ1	112,200	90,332	85,385	88,998	83,639	70,661★
スコープ2	90,486	72,727	62,577	76,409	35,779	28,084★
Jクレジット				6,500	6,500	12,000★
グリーン熱証書					406	383★
算出排出量	202,686	163,059	147,962	158,907	112,512	86,362

対象範囲：リンテック（株）、東京リンテック加工（株）、湘南リンテック加工（株）、リンテックサービス（株）
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

海外

単位:t-CO_2

		2013年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
琳得科(蘇州)科技有限公司	スコープ1	1,772	1,972	1,046	377	374	286
	スコープ2	3,189	2,502	2,835	3,624	2,815	2,326
	合計	4,961	4,473	3,882	4,001	3,189	2,611
リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社	スコープ1	2,969	280	362	555	229	69
	スコープ2	1,751	3,928	3,926	3,861	2,479	2,480
	合計	4,720	4,208	4,288	4,416	2,709	2,549
リンテック・コリア社	スコープ1	2,505	2,785	2,635	2,850	2,770	2,499
	スコープ2	3,835	3,811	3,724	3,849	3,772	3,830
	合計	6,340	6,596	6,359	6,700	6,542	6,329
リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(韓国)社	スコープ1	1,088	623	604	622	452	276
	スコープ2	3,714	3,770	3,819	3,842	2,784	4,165
	合計	4,802	4,393	4,422	4,464	3,236	4,441
リンテック・インドネシア社	スコープ1	2,691	1,216	875	1,225	1,262	1,289
	スコープ2	6,524	3,774	2,321	3,111	2,903	2,878
	合計	9,215	4,990	3,196	4,336	4,165	4,167
リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社	スコープ1	2,065	1,203	1,758	1,815	984	887
	スコープ2	5,046	2,534	2,984	2,875	1,552	1,333
	合計	7,111	3,736	4,742	4,690	2,537	2,220
リンテック・タイランド社	スコープ1	—	1,167	1,100	1,199	1,024	857
	スコープ2	—	2,802	2,463	2,364	1,482	1,218
	合計	—	3,969	3,562	3,563	2,506	2,075
マディコ社	スコープ1	1,461	943	3,232	3,375	2,591	2,272
	スコープ2	3,437	1,376	4,641	3,963	3,558	3,439
	合計	4,898	2,319	7,874	7,339	6,149	5,711
マックタック・アメリカ社	スコープ1	—	8,355	8,189	24,075	16,047	12,258
	スコープ2	—	7,406	6,458	11,991	14,115	11,286
	合計	43,679	15,760	14,647	36,065	30,163	23,544
その他*	スコープ1	—	3,357	2,902	3,585	1,650	994
	スコープ2	—	6,481	6,156	6,142	5,077	4,456
	合計	6,488	9,838	9,058	9,727	6,727	5,450
合計	スコープ1	—	20,734	21,604	38,480	26,361	20,829
	スコープ2	—	35,581	36,864	43,258	39,056	36,192
	合計	92,214	56,314	58,468	81,738	65,416	57,021

＊ その他：普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、VDI社、営業拠点

スコープ3

単位:t-CO_2

カテゴリー項目		2022年度		2023年度	
		対象範囲		対象範囲	
カテゴリー1	購入した製品・サービス	①	719,374	①	581,462
カテゴリー2	資本財	①	13,945	①	38,722
カテゴリー3	スコープ1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	②	38,595	②	32,230
カテゴリー4	輸送、配送(上流)	②	37,326	②	28,983
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	③	54,790	③	43,730
カテゴリー6	出張	④	495	④	476
カテゴリー7	雇用者の通勤	④	1,893	④	1,597
カテゴリー8	リース資産(上流)	N/A	非該当*1	N/A	非該当*1
カテゴリー9	輸送、配送(下流)	②	0*2	②	0*2
カテゴリー10	販売した製品の加工	N/A	—*1	N/A	—*1
カテゴリー11	販売した製品の使用	N/A	—	N/A	—
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	①	57,964	①	54,850
カテゴリー13	リース資産(下流)	N/A	非該当	N/A	非該当
カテゴリー14	フランチャイズ	N/A	非該当	N/A	非該当
カテゴリー15	投資	N/A	非該当	N/A	非該当
スコープ3合計排出量			924,382		782,050

以下のガイドラインに従い算定しています。引き続き算定精度の向上に努めます。
- Technical guidance for Calculating Scope3 Emission-Supplement to the Corporate Value Chain(Scope3)Accounting & Reporting Standard(GHG protocol(WRI/WBCSD))
- サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース Ver.3.1(環境省・経済産業省)
- IDEA Ver3.1(サプライチェーン温室効果ガス排出量算定用)

① リンテック(株)
② リンテック(株)、湘南リンテック加工(株)、東京リンテック加工(株)
③ リンテック(株)の吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、小松島工場、三島工場、土居加工工場、本社、伊奈テクノロジーセンター、東京リンテック加工(株)
④ リンテック(株)、リンテックコマース(株)、リンテックサインシステム(株)、プリンテック(株)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)、東京リンテック加工(株)
＊1 「非該当」は、算定の対象外と判断した項目。「−」は、該当するが算定が技術的に困難のため算定せずとした項目。
＊2 製品の輸送費用は基本的に自社で負担している場合がほとんどであり、カテゴリー4に算入。

▼ カテゴリーごとの算定方法

カテゴリー1	原料・サービスごとの購入金額と物量に排出原単位を乗じて算出
カテゴリー2	設備投資額に排出原単位を乗じて算出
カテゴリー3	購入した燃料、電力、蒸気などの生産に伴うGHG排出量および年間購入量に燃料別の排出原単位を乗じて算出
カテゴリー4	国内物流を対象に、原材料の購入重量に排出原単位を掛けて算出
カテゴリー5	生産事業所から排出された廃棄物の種類別排出量に排出原単位を掛けて算出
カテゴリー6	従業員の人数に排出原単位を掛けて算出
カテゴリー7	地域別従業員人数と出勤日数に排出原単位を掛けて算出
カテゴリー12	素材別購入数量から廃棄分を差し引き、種類ごとに排出原単位を掛けて算出

各種取り組み

省エネルギー法への対応

国内リンテックグループでは、「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(略称:省エネルギー法)」に基づき、特定事業者の指定を受け、エネルギー原単位を年1%以上、電気需要平準化原単位を1%以上改善することが求められています。省エネルギー法に対応するため、省エネルギー推進委員の管理下で各事業所のエネルギー使用データを毎月集計し、省エネルギー活動を推進しています。また、各工場に原単位1%改善目標を達成するための施策・案を提出してもらい、進捗・実施結果をまとめています。そのほか、効果のある案件の横展開を実施しています。

太陽光発電システム導入実績(2020年以降)

導入年度	拠点名	削減計画量(t-CO_2/年)
2020	熊谷工場	458
2020	伊奈テクノロジーセンター	110
2021	千葉工場	133
2021	東京リンテック加工(株)	196
2022	三島工場	457
2022	土居加工工場	462
2022	小松島工場	180
2023	熊谷工場	473

コージェネレーションシステムの導入実績(2020年以降)

導入年度	拠点名
2023	土居加工工場

フロン漏洩に向けた取り組み

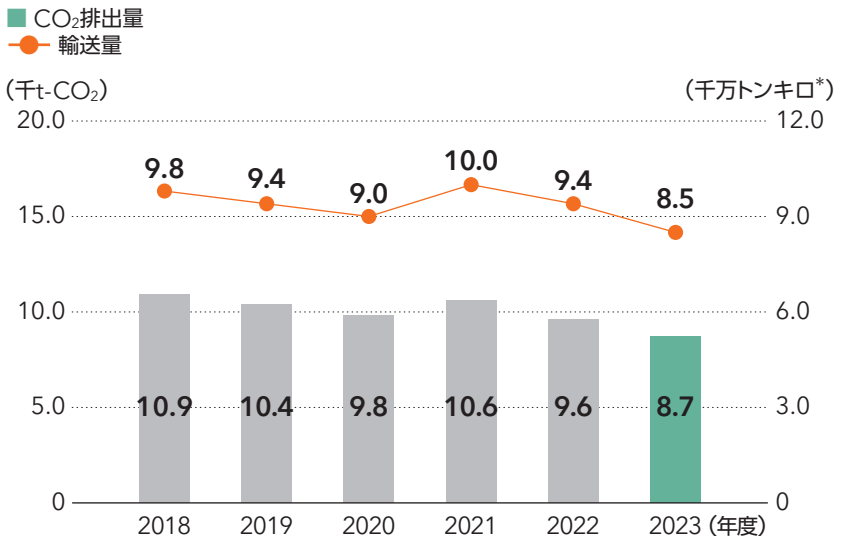
各工場事業所および営業拠点にはパッケージエアコンやチラーなどのフロン冷媒を使用した空調機や冷凍機が設置されており、フロン排出抑制法に則った機器リストを作成し、定められた点検を実施して機器使用時のフロン漏えい防止を図っています。

また機器廃棄時には適正な業者に引き渡し、フロン冷媒が確実に回収されるようにしています。今後とも法令を遵守し、適切な使用、管理を行っていきます。

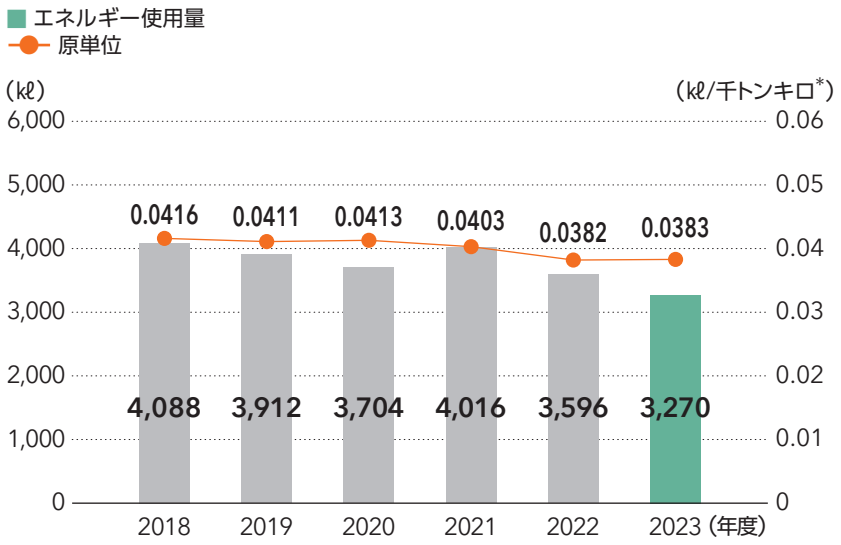
物流における取り組み

物流において輸送効率の最適化やモーダルシフトに取り組み、CO_2排出の抑制・削減を進めています。

▼ CO_2排出量と輸送量



▼ エネルギー使用量



＊トンキロ：貨物の輸送量を表わす単位で、1回ごとの貨物のトン数とその輸送距離を掛け合わせたもの。1tの貨物を1km輸送した輸送量が1トンキロ。

TCFDに基づく情報開示

リンテックグループでは気候変動が自社の事業活動にさまざまな影響を及ぼすことを認識し、これを重要な経営課題の一つとして捉えています。リスク管理体制や各リスクへの対応を強化するとともに、新たな事業機会を見いだしていくことなどによって、持続的成長とサステナブル社会実現への貢献を目指していきます。気候変動への対応に関する情報開示については、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に沿って積極的に行い、ステークホルダーの皆様とのエンゲージメントを通じて、さらなる企業価値向上に努めていきます。

ガバナンス

気候変動関連課題への対応を含むサステナビリティに関する具体的な取り組み施策については、「サステナビリティ委員会」（原則年4回開催）において、対応方針や実行計画についての議論と進捗状況の監督を行っています。同委員会は社長が委員長を務め、全取締役および下部委員会の推進担当役員が参加しており、討議結果は取締役会において報告される体制としています。

気候変動関連課題は「TCFD分科会」を通じて「環境委員会」で一次評価を実施し、「サステナビリティ委員会」において最終的な評価を行います。課題への対応策は各拠点で実行・管理され、対応状況は「環境委員会」にて取りまとめ、「サステナビリティ委員会」において全取締役および推進担当役員に報告されています。

参照先

> コーポレートガバナンス体制図
※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

戦　略

リンテックグループでは、気候変動に伴うさまざまなリスク・機会を事業戦略策定上の重要事項の一つとして捉えており、以下の二つのシナリオを設定して、2030年（中期）および2050年（長期）までの国内事業および海外事業の一部を対象としたシナリオ分析を実施しています。その結果、下表のようなリスクと機会を特定しました。これらの気候変動に関連するリスクと機会の対応策を当社グループの長期ビジョン「LSV 2030」の取り組みに反映させるとともに、今後はリンテックグループの連結決算対象企業へ拡大し、より長期的視点での分析を進めていきます。

		+4℃シナリオ	+2℃または1.5℃以下シナリオ
参照シナリオ	移行リスク	国際エネルギー機関(IEA)による移行シナリオ	
		「公表政策シナリオ(STEPS)」*1	「持続可能な開発シナリオ(SDS)」 「Net Zero Emissions by 2050(NZE)」*1
	物理的リスク	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)による気候変動予測シナリオ	
		「RCP8.5」*2	「RCP2.6」*2
		経済産業省　「トランジション・ファイナンス」に関する技術ロードマップ	
当社が想定する社会像		**【政策は現状のまま進み、気候変動が進行する社会】** • 気候変動対策は現在の延長線にとどまる • 気温上昇により、降水パターンが変化。突発的な異常気象の発生が増加し、被害の規模が現在よりも拡大する • 炭素税は導入されていない	**【脱炭素社会実現に向け、積極策を取る社会】** • カーボンプライシング導入、再生可能エネルギー推進、ZEB・ZEH*3推進など脱炭素に向けた積極策が取られる • 再生可能エネルギー・省エネルギー技術や脱炭素に向けた新技術の開発が積極的に行われる • 脱石化原料への転換により、原材料調達環境も変化する • 脱プラスチック、3Rがより推進され、サーキュラーエコノミーが社会で前提となっている • 気温上昇による水害や干ばつは増加するが、+4℃の世界よりも被害は小さい • 消費者意識の変化により、環境配慮製品の需要が高まる

*1 出典：IEA「World Energy Outlook 2021」・「World Energy Outlook 2022」
*2 出展：IPCC「第5次評価報告書」
*3 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)は、高断熱化・高気密化・高効率化・太陽光発電設備の導入などにより年間のエネルギー消費量を実質的にゼロ以下にする建築物、住宅のこと

対象範囲

本シナリオ分析の対象は、国内事業および海外事業の一部(中国、韓国、タイ、インドネシア)としています。今後、リンテックグループの連結決算対象企業へ拡大していきます。

時間軸

リンテックグループの長期ビジョンおよびSDGsの最終年度である2030年までを「中期」、当社グループがカーボンニュートラル達成の目標としている2050年までを「長期」と設定しています。また、将来的な財務影響の時間軸については、2030年時点を分析対象の中心としています。

+2℃以下の世界

移行リスク

分類	主なリスク		時間軸	対応策
政策・法規制	カーボンプライシング	温室効果ガス排出やエネルギー使用に関する法規制強化(炭素税導入など)に伴う対応コストや製造コストの増加および価格転嫁した場合の価格競争力低下	中期～長期	• 燃料転換、高効率機器の導入、再生可能エネルギーの利用などにより、トータルコストを維持・削減しつつ、CO_2排出量を削減
	CO_2排出規制の強化	省エネ・CO_2排出量削減に向けた設備投資の増加による投資未回収の発生	中期～長期	• 中長期的なCO_2排出シミュレーションに基づく、計画的な設備投資の実施
		温室効果ガス排出に関する情報開示レベルの高度化・義務化による対応負担増	中期～長期	• 温室効果ガス排出量の第三者検証の追加(海外)検討、第三者機関による業務支援、自社算定方法(スコープ3など)の検討
	VOC排出規制の強化	溶剤製品の売上減少や仕様変更	中期～長期	• さらなる無溶剤製品の開発強化および拡販
技術	新技術開発	気候変動対応製品の開発遅延や従来製品が環境対応ニーズを満たせなかった場合のビジネス機会逸失	中期～長期	• 気候変動対応への市場ニーズを調査し、循環型社会に向けた取り組みに優先順位をつけ開発を推進
		新技術の研究開発、知的財産権の確保、共同開発などの遅れによる競争力低下	中期～長期	• 気候変動に関する新規技術の開発、知的財産権の確保、共同開発の検討などの推進
市場	エネルギーコストの変化	原油・石油由来エネルギーの価格上昇による製造コスト・光熱費の増加	中期	• 省エネルギー活動の強化、再生可能エネルギー設備の活用促進
	重要製品の変化	顧客ニーズの環境配慮製品への移行による主要製品の受注減少	中期～長期	• 顧客ニーズに対応した環境配慮製品の開発・拡充および拡販
	原材料調達の変化	脱石化原料の加速に伴うサプライヤーへの依存度の上昇による製品供給の不安定化	中期～長期	• サプライヤーチェーンマネジメントの高度化によるサプライヤーの多元化
		サプライヤーのCO_2対策などによる原材料コスト増	中期～長期	• サプライヤーチェーンマネジメントの高度化によるサプライヤーの多元化
評判	顧客評判の変化	気候変動への取り組み体制の整備や対応製品の展開・強化の遅れによる顧客評価の低下と売上減少	中期～長期	• ステークホルダーエンゲージメントの積極化 • 環境配慮製品の開発・拡充および拡販
		顧客からの開示要求への対応の遅れにより顧客評価の低下につながり、取引停止・取引機会の逸失が発生し、売上減	短期～中期	• リンテックグループ全体でのグローバルで効率的な情報収集体制・回答体制の強化

機会

分類	主な機会	時間軸	対応策
資源の効率	水の循環利用による給排水コスト削減	中期～長期	• 水冷設備の循環水方式への移行を検討
	インターナルカーボンプライシングの導入などによる効果的な新規設備投資	中期	• インターナルカーボンプライシングおよびコストを可視化するための社内投資判断基準の導入
エネルギー源	エネルギー調達面におけるコスト削減の推進	中期～長期	• 再生可能エネルギーの使用促進、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備導入 • コージェネレーションシステム、排熱ボイラー、自家消費型太陽光発電設備などの導入
	排出枠内にCO_2排出量を収めることによる排出権取引の収益化	中期～長期	• CO_2排出量の削減強化
	脱炭素に向けた代替エネルギーの導入	長期	• 代替エネルギーとしての水素などの導入検討
	サプライヤーの技術革新により、カーボンニュートラルの実現に寄与するエネルギー源や原料を用いて製造した原材料の調達機会の増加	中期～長期	• サプライヤーとの連携・協働により、カーボンニュートラルの実現に寄与する原材料調達の推進
製品・サービス	さらなるデジタル化・EVの普及などに伴うエレクトロニクス関連製品の需要増加	中期～長期	• 積極的な設備投資によるエレクトロニクス関連事業の生産体制の拡充
	循環型社会の実現に資する製品や取り組みへのニーズ拡大	中期～長期	• 環境配慮製品の開発・拡充（脱プラ、バイオマス、生分解性、森林認証紙など） • サプライチェーン、外部団体などとの共同による資源循環型製品の開発や資源回収システムの構築を推進
	再生可能エネルギーの普及・拡大に伴うビジネス機会の増加	中期～長期	• 再生可能エネルギーの創出に貢献する製品の開発・拡充
	省エネルギー製品の販売機会の増加	中期～長期	• 省エネルギー促進に貢献する製品（高機能ウインドーフィルム、採光フィルムなど）の開発・拡充
	無溶剤製品の販売機会の拡大	中期～長期	• 顧客ニーズに応じた無溶剤製品のさらなる開発・拡充
	従業員の環境意識向上による新たなビジネス機会の獲得	中期～長期	• 組織横断の委員会活動や研修などを通じて従業員の環境意識を図ることで、優位性のある製品を市場に提供し、さらなるビジネス機会を獲得
市場	脱炭素社会、循環型社会に向けた取り組みの充実によるステークホルダーからの支持獲得	中期～長期	• 自社における取り組みの強化およびサプライチェーンや業界全体と連携した取り組みの推進 • 国内外へ環境配慮製品を積極的に周知し、より広範囲なステークホルダーからの理解・支持を獲得
レジリエンス	サプライヤー見直しによるサプライチェーンの安定化	中期～長期	• サプライチェーンマネジメントの高度化

+4℃の世界

物理的リスク

分類	主なリスク		時間軸	対応策
急性	自然災害の激甚化	豪雨などでのサプライチェーンの寸断や工場の操業停止による製品供給遅延と売り上げの減少、および物流遅延や商品破損による物流費と営業外費用の上昇	中期～長期	• 海外拠点を含めたBCP対応とBCM構築 • 自然災害への対応力を想定した在庫管理と物流管理体制の構築 • 災害対応マニュアルの整備 • 自然災害を想定した保険加入 • 水害を想定した建物設計
		修繕費や災害･損害保険費などの増加	中期～長期	• 各拠点における定期的なリスク洗い出しの実施 • マネジメントレビューによる指示について関連事項に注視し、設備の更新仕様に反映
慢性	気温の上昇	夏場の空調エネルギーコストの増加	中期～長期	• 各事業所において、窓ガラスの複層化や遮熱フィルムの貼付などによる断熱性能の改善を検討
	用水確保の不安定化	地下水の減少による工業用水不足	中期～長期	• 水冷設備の循環水方式への移行を検討

気候変動に伴うリスク･機会の財務的影響

移行リスクによる財務的影響

- **カーボンプライシングによる費用の増加**

  CO_2排出量について2030年までに2013年度比で75%以上の削減、2050年に実質ゼロを目指しています。炭素税が導入された場合、2030年に目標を達成した際の炭素税負担は約20億円と推定しています。これは、削減に取り組まない場合と比較し、約11億円の負担減となります。

- **CO_2排出量削減に向けた設備投資**

  自家消費型太陽光発電設備やガスタービンコージェネレーションシステムの導入など、長期ビジョン「LSV 2030」の期間中に国内のCO_2削減投資として累計約147億円の投資を計画しています。

- **原材料調達環境の変化**

  当社製品の一部は、化石燃料やパルプ由来の原材料を使用しています。そのため、原材料調達環境の変化による当社事業への長期的リスクは大きいと認識しています。引き続き影響度の分析に取り組むとともに、原材料の転換や新技術を含めた対応策を検討していきます。

物理的リスクによる財務的影響

- **豪雨･水害**

  原材料の複数購買と各拠点における適正在庫の維持、BCPによるバックアップ体制の構築を図ることで、影響の最小化と製品の安定供給に努めていきます。

- **干ばつ**

  各拠点における工業用水系統の複数化と工業用水使用量の削減に継続して取り組むことで、影響の最小化に努めていきます。

機会による財務的影響

- **各種環境配慮製品需要の増加**
  企業の温暖化対策推進、また環境に配慮した持続可能な暮らしへの消費者意識の変化により、当社環境配慮製品の需要増加が見込まれます。影響額は算定中です。
- **省エネルギー対応製品需要の増加**
  省エネルギーや防災などへのニーズの高まりや、新興国のさらなる工業化・都市化の進展により、当社省エネルギー対応製品の需要増加が見込まれます。影響額は算定中です。

シナリオの分析の結果

シナリオ分析の結果、2030年および2050年時点において、今回想定したいずれのシナリオにおいても、原材料コスト増による影響や、長期ビジョン「LSV 2030」の取り組みに関連した省エネルギー対応製品や各種環境配慮製品の需要拡大など、当社事業への一定の影響を確認しました。この結果を受け、リスク対応および機会獲得のための積極的な取り組みが必要であることを再確認しました。グループ全社一丸となって対応を進めるとともに、CO_2排出量を2030年までに2013年度比で75%以上削減、2050年には実質ゼロを目指して、積極的な取り組みを続けていきます。

リンテックグループの取り組み

> (1)経営計画
※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

> (2)統合報告書2024

リスク管理

リンテックグループではリスク管理体制強化のため、各本部長と社長直轄組織である各室の室長で構成される「全社リスク管理委員会」を2018年4月に設置し、定期的に委員会を開催しています。

2021年4月にサステナビリティ活動の推進体制が刷新・強化され、同委員会の目的を「事業におけるリスクと機会の把握、対応方針策定、職制への落とし込みおよび検証」として、改めて明確にしました。同委員会では、主に各委員の課題認識と管理職などを対象に毎年実施しているリスク洗い出しの結果に基づいて、自然災害を含む各リスクの評価・分析を行っています。その結果は四半期ごとにサステナビリティ委員会で報告され、対応などについての指示を受けています。

また、気候関連リスクに係る情報は「環境委員会」が収集して識別・評価を行い、その結果を「サステナビリティ委員会」に報告しています。同委員会では対応の必要性を検討後、適宜、下部委員会を通じて推進担当役員に業務指示を行っており、指示を受けた推進担当役員はそれぞれの所管部署を通じて対応策を実行します。「環境委員会」はその後の状況の変化を継続的に確認し、当初掲げた指標・目標が達成できているかどうか定期的に把握しています。

今後も各委員会が連携してリスク管理能力の強化に努めるとともに、リスク管理体制の継続的な改善を図ることで、リンテックグループの持続的成長につなげていきます。

関連情報

> リスクマネジメント(ガバナンス報告)

> 環境マネジメント(環境報告)

指標と目標

リンテックグループは、気候変動への対応として温室効果ガス（GHG）排出量の削減が重要であると認識し、研究開発・製造・販売・物流面などにおいてさまざまな施策を推進しています。脱炭素に向けたこれらの取り組みはメーカーとしての使命であると同時に、気候関連の新たな機会獲得につながると考えています。当社グループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LSV 2030」において、以下の数値目標を設定しています。

目標と実績

> リンテックグループのCO_2排出量ロードマップ（環境データブック）

その他の目標・指標掲載箇所

> （1）環境報告

> （2）経営方針
※ 株主・投資家情報ページ内に移動します。

> （3）スコープ3（環境データブック）

廃棄物の削減

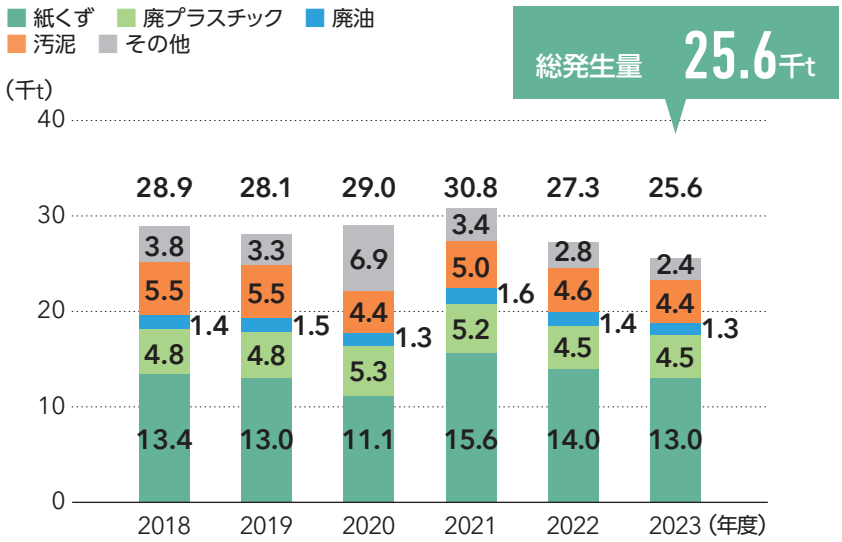
廃棄物の有効利用状況

単位：千t

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
廃棄物発生量	28.1	29.0	30.8	27.3	25.6
社内有効利用量*1	9.6	8.9	9.9	8.4	7.3
有価物販売量*2	6.8	7.5	5.6	7.2	7.9
社外処理量	11.8	12.1	15.6	11.8	10.4
社外有効利用量*3	7.1	8.8	11.9	7.6	6.6
焼却量	4.6	3.1	3.5	4.1	3.7
減容、熱利用量	4.5	2.9	3.3	4.0	3.6
最終埋立量	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1
再資源化量　（*1*2*3合計）	23.5	25.2	27.4	23.1	21.8

対象範囲：リンテック（株）の本社、工場、研究所、東京リンテック加工（株）

廃棄物発生量



対象範囲：リンテック（株）の本社、工場、研究所、東京リンテック加工（株）

3Rの取り組み

リデュースの取り組み（ゴミの量を減らす）

リンテックグループは、社内イントラネットを利用した電子承認制度などにより、事務書類のペーパーレス化に取り組んでいます。各工場においては、不良品の削減を目的に研究所と一緒になり製造技術および歩留まりの向上に努めています。また、調薬釜の小型化や通紙に用いる原材料の狭幅化、連続して生産する生産計画により、使用原材料の削減に取り組んでいます。

リユースの取り組み（繰り返し使う）

リンテックグループの事業所内を行き来しているパレットや粘着仕掛品ロールに使用されている巻き芯は、必要に応じて洗浄し、搬送先や搬送元で再利用しています。顧客や原材料メーカーからのパレットは、搬送元ごとに分別して管理し、再利用のために搬送元に返却して顧客や原材料メーカーをも巻き込んだリユースに取り組んでいます。

リサイクルの取り組み

関東近郊の国内グループで発生する紙くずを熊谷工場に集約し、サーマルリサイクルの原材料として自社内の有効利用を行っています。廃棄物の分別を徹底し、これまで混合物として廃棄物処理されていたものをリサイクルの原材料となる有価物化することで、リサイクルの促進に努めています。

また、環境配慮製品の開発に注力し、脱プラを目的としたストロー用原紙や、ペットボトルをリサイクルした再生PETフィルム、バイオマス粘着剤を使用した粘着製品などを市場に投入しています。

プラスチック資源循環促進法への取り組み

プラスチック資源循環促進法における排出抑制および再資源化等の目標

1. 生産工程の見直しなどにより歩留まりの向上に努め、プラスチック廃棄物の排出量を抑制する。
2. 購入原材料や社内で流通する仕掛品に使用されるプラスチック製包装材料の簡素化、減量化、再使用を促進することで社内外のプラスチック製包装材料の使用および排出の抑制に貢献する。
3. 製品出荷時に使用しているプラスチック製の巻き芯を回収して、再使用することによりプラスチック製巻き芯の使用および排出の抑制に努める。

リンテックのプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量と再資源化率

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
排出量(t)	3,635	3,754	3,423	3,413
再資源化率(%)	4.4	6.2	10.9	4.6
熱回収率(%)	93.3	91.5	86.7	93.3

再資源化率(%)＝再資源化量／排出量×100
熱回収率(%)＝熱回収量／排出量×100
対象範囲：本社、吾妻工場、熊谷工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、三島工場（土居工場）、小松島工場、札幌支店、仙台支店、北陸支店、文京春日オフィス、静岡支店、名古屋支店、大阪支店、四国支店、広島支店、福岡支店、熊本事務所、東京リンテック加工（株）

国内グループ会社のプラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量

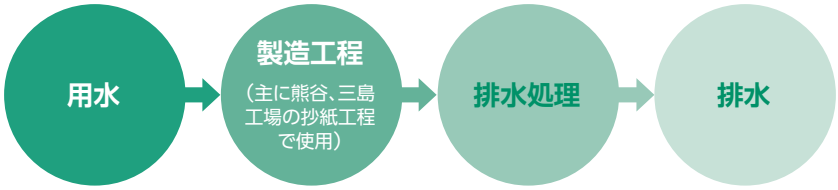
単位：t

	2022年度	2023年度
リンテックコマース(株)	9.6	7.1
リンテックサインシステム(株)	22.4	49.7
湘南リンテック加工(株)	125.0	84.6
リンテックサービス(株)	0	0
リンテックカスタマーサービス(株)	0.3*	1.5
東京リンテック加工(株)	100.9	102.0

＊集計期間：2022年12月~2023年3月

用水の使用と排水

使用した、基準、方法、前提条件



水道水、地下水、工業用水は測定数値

用水使用量と排水量

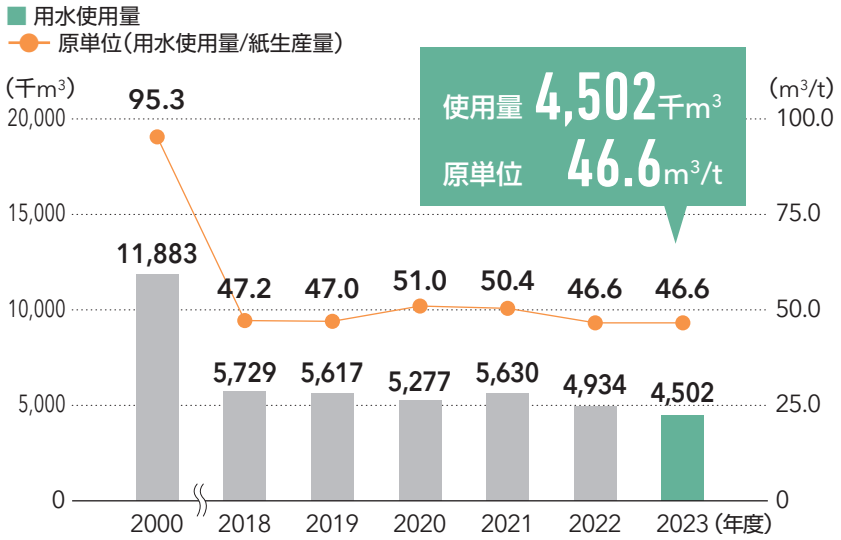
単位：千m³

種別	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
用水合計	7,951	7,718	7,798	7,831★
• 水道水	531	509	540	515
• 工業用水	3,660	3,715	3,383	3,680
• 地下水	3,760	3,494	3,876	3,636
排水	6,163	6,630	6,191	5,909

★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら
対象範囲：リンテック(株)の本社、工場、東京リンテック加工(株)
※ 用水は、水道水、工業用水、地下水の合計です。

熊谷工場・三島工場の洋紙生産における用水使用量

▼ 用水使用量（熊谷工場、三島工場の洋紙生産）



排水水質(熊谷工場・三島工場)

熊谷工場

項目	排水基準		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
			最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値
pH	5.8~8.6		6.63~7.48	7.04	7.6	7.1	7.8	7.16	7.47	7.07	7.9	7.11
濃度規制	SS*1	60(50)以下	26.6	(11.91)	33.9	(22.26)	45.6	(12.47)	42.9	(11.73)	32.7	(12.98)
	BOD*2	25(20)以下	20	(9.81)	23	(10.45)	20	(8.71)	21	(9.12)	25	(8.73)
	COD*3	—	48.9	23.77	55	24.21	45.2	23.22	43.2	22.09	67.3	23.12
総量規制	COD(t/日)	0.858以下	0.2746	0.1435	0.276	0.14	0.282	0.138	0.265	0.121	0.235	0.12146
	窒素(t/日)	0.4068以下	0.0277	0.1438	0.143	0.395	0.1413	0.3471	0.142	0.0023	0.1169	0.0245
	リン(t/日)	0.0418以下	0.0013	0.0011	0.01	0.0094	0.0126	0.0009	0.0065	0.0007	0.00776	0.00098

三島工場

項目	排水基準		2019年度		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
			最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値
pH	5.8~8.6		6.0~7.3	6.64	6.0~7.6	6.75	6.0~8.0	6.96	6.0~7.7	6.77	6.1~8.0	6.99
濃度規制	SS*1	80(60)以下	33	(4)	29	(4)	28	(4)	44	(4)	45	(4)
	COD*3	90(65)以下	78.6	(24)	84.5	(24.6)	88.2	(24.3)	89.2	(25)	89.4	(22.9)
	TN	120(60)以下	—	—	—	—	77.9	(4.5)	47.1	(5.5)	41.6	(5.1)
	TP	16(8)以下	—	—	—	—	0.7	(0.04)	0.83	(0.04)	0.9	(0.04)
総量規制	COD(t/日)	0.9431以下	0.5198	0.2462	0.4886	0.2385	0.5158	0.25	0.4945	0.2365	0.4452	0.2065
	窒素(t/日)	0.3961以下	0.2171	0.043	0.1749	0.0351	0.1926	0.0465	0.199	0.0519	0.165	0.0477
	リン(t/日)	0.0405以下	0.0009	0.0003	0.0014	0.0002	0.0013	0.0004	0.0014	0.0004	0.0024	0.0004

濃度規制に関しては括弧内の数値は日間平均値を示す。
*1 SS:Suspended Solids(浮遊物質量)
*2 BOD:Biochemical Oxygen Demand(生物化学的酸素要求量)
*3 COD:Chemical Oxygen Demand(化学的酸素要求量)

生物多様性保全のための取り組み

取り組み事例

TNFD*(v0.4)が求める優先地の特定に基づく評価を行い、熊谷工場から生物多様性の取り組みを開始しました。5つのゾーニング(森づくり・草地づくり・保全型植栽・景観植栽・水域)の考えを構築し、活動を進めています。

そのほか、各工場で地域における在来種植栽候補リストを作成し、入手できる樹種(針葉樹・常緑樹など)から選んで、植樹しました。

＊TNFD：Taskforce on Nature-related Financial Disclosuresの略称。自然関連財務情報開示タスクフォース。

取り組み事例①　熊谷工場　生物多様性の取り組み

森づくりでは、周辺で採種した種子をポットに播種し、育苗しています。また、水域では、工場内で確認された絶滅危惧種の生育を進めています。

在来樹種の保護活動

絶滅危惧種の保護活動

取り組み事例②　千葉工場　在来種の植樹

千葉県の地域植栽在来種候補から選定し、県産品を植樹しました。

左側／イヌマキ　右側／クロマツ

サカキ

取り組み事例③　三島工場　在来種の植樹

愛媛県の地域植栽在来種候補から選定し、県産品を植樹しました。

ヤブツバキ

PRTR法への対応

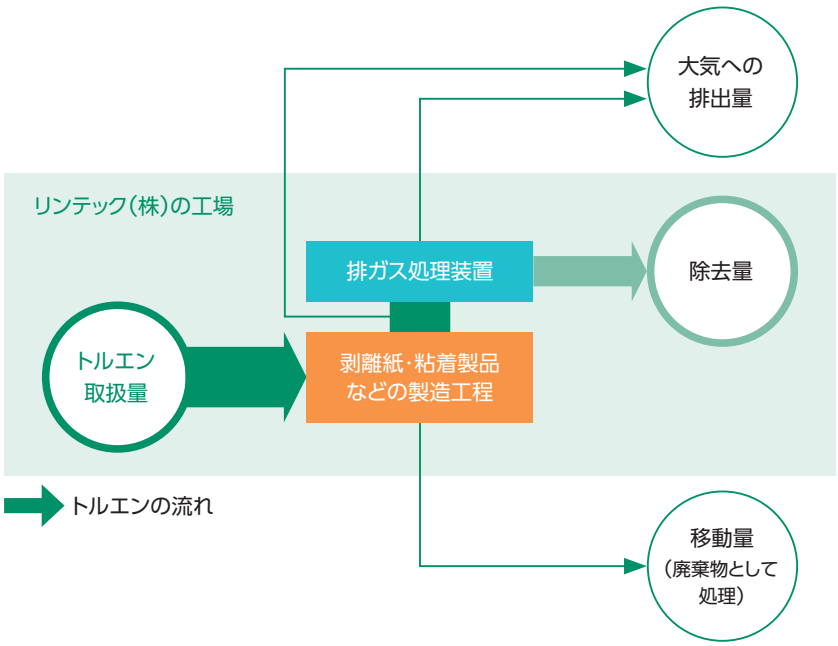
PRTR対象物質排出量

単位：t

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
排出量	459	439	359	346

対象範囲：リンテック(株)および東京リンテック加工(株)

トルエンの排出量と移動量



	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
トルエン取扱量(t)	7,919	7,652	6,614	6,800	5,508	5,471
大気への排出量(t)	489	464	453	434	357	340
除去量(t)	6,901	6,825	5,719	5,851	4,695	4,631
除去率(%)	93.4	93.8	93.5	93.1	92.9	93.2
移動量(t) (廃棄物として処理)	529	363	496	516	456	500

※ 除去率=除去量／(取扱量−移動量)×100
対象範囲：リンテック(株)の工場

VOC排出量の削減

VOC排出量

国内

単位：t

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
吾妻工場	139.8	153.6	126.2	114.7
熊谷工場	286.7	288.5	196.2	170.6
研究所	1.8	2.0	1.7	1.6
千葉工場	107.5	125.0	118.5	117.3
龍野工場	39.5	38.2	74.9	54.8
新宮事業所	49.4	46.7	27.8	33.7
小松島工場	30.6	35.0	32.4	26.0
三島工場	152.9	200.6	167.2	149.0
合計	825.7	909.5	754.3	667.7★

※ VOC算定物質：トルエン、酢酸エチル、MEK、IPA、アセトン、n-ヘキサン、キシレン、エチルベンゼン、酢酸ビニル、メタノール、エタノール、の11物質。
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

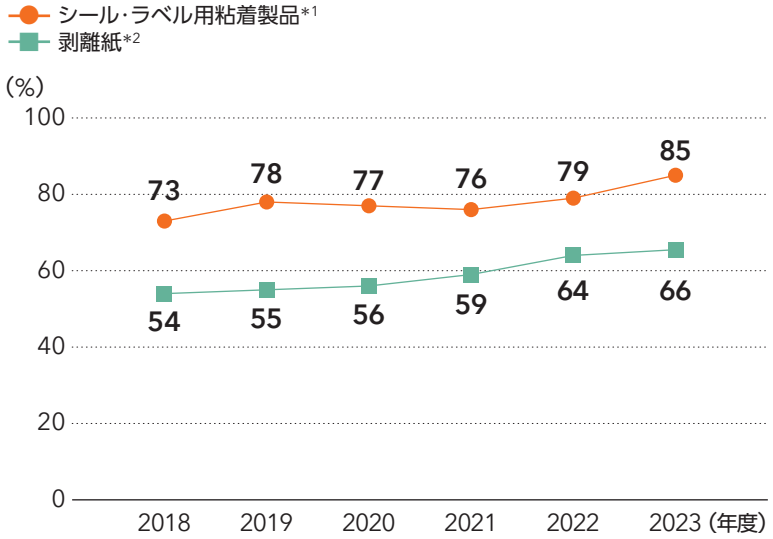
海外

単位：t

	2020年	2021年	2022年	2023年
リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社	37.9	47.4	25.6	24.5
リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(韓国)社	33.8	36.0	22.1	15.2
リンテック・インドネシア社	195.7	251.7	163.8	187.0
リンテック・タイランド社	25.0	25.0	23.3	17.7
琳得科(蘇州)科技有限公司	28.1	25.5	4.3	3.9
リンテック・コリア社	2.7	3.4	2.9	2.4
リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社	5.6	5.9	3.4	2.0
マディコ社	2.3	5.5	4.5	3.7
その他*	39.1	40.9	15.4	12.1
合計	436.1	535.7	404.1	348.4

＊ その他：普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社

シール・ラベル用粘着製品と剥離紙の無溶剤化率



＊1 シール・ラベル用粘着製品は国内販売量
＊2 剥離紙は、熊谷工場と三島工場で生産する剥離紙全て(一部特殊品を除く)

参照先

> 無溶剤型剥離紙特集サイト

化学物質管理、EUにおける各種環境規則への対応

REACH規則　SVHC(高懸念物質)認可対象候補物質

合計	241物質(31次、2024年6月27日現在)

製品情報提出の流れ

PCBの適正管理

PCBの適正保管・管理状況

事業所名	PCB廃棄物保管台数	処理施設	委託処理登録年度	処理完了時期
熊谷工場	高濃度／19台	JESCO東京	2005	2019年3月完了
	安定器／4台	JESCO北海道	2017	2018年6月完了
	低濃度／1台	群桐産業	2018	2018年12月完了
龍野工場	高濃度／14台	JESCO北九州	2015	2019年6月完了
	安定器／3台		2019	2019年6月完了
合計	41台(処分済み)			

環境保全コスト

2023年度の投資額*1は2,435百万円、費用額*2は5,025百万円でした。今期の投資額合計については、主にCO_2排出量削減を目的とした洋紙生産設備や工場新棟に省エネ効果のある空調設備導入をしたことにより、2022年度と比較して1,583百万円増となりました。

費用額合計については、燃料転換設備維持管理費、自家発電維持管理費などの省エネコスト増加により2022年度と比較して414百万円増となりました。

＊1 投資額：対象期間における環境保全を目的とした支出額で、環境保全効果が数期にわたり持続し、その期間に費用化されていくもの。
＊2 費用額：環境保全を目的とした財・サービスの費消により発生する費用または損失。

分類		対象となる設備	投資額（百万円）	主な取り組みの内容	費用額（百万円）
1. 生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するためのコスト	公害防止				
	a. 大気汚染削減装置など大気汚染防止のためのコスト	排ガス処理装置	171	大気汚染防止設備維持管理	353
	b. 排水処理設備など水質汚濁防止のためのコスト	排水処理設備	223	水質汚濁防止設備維持管理	171
	c. その他公害防止のためのコスト	—	—	スラッジ処理費	35
	地球環境保全				
	a. 温暖化防止のためのコスト	—	—	燃料転換設備維持管理	140
	b. 省エネルギー・省資源のためのコスト	排熱回収設備	2,034	自家発電設備維持管理	682
	資源循環				
	a. 古紙設備など資源の効率的利用のためのコスト	—	—	古紙処理設備維持管理、古紙原料化	364
	b. 産業廃棄物の減量化・削減・リサイクル・処理のためのコスト	燃料化設備	4	焼却炉ボイラー設備維持管理、産業廃棄物処理	489
2. 上・下流コスト	副資材の回収・再生・再利用のためのコスト	—	—	副資材の返却費用	63
	グリーン調達、環境負荷の少ない原材料等の購入	—	—	環境配慮型事務用品の購入	8
3. 管理活動における環境保全コスト	環境管理システムの構築、運用のためのコスト	—	—	環境保全組織の運営	398
	環境情報開示	—	—	サステナビリティレポート・サイト制作	34
	大気、水質の分析費用など環境負荷の監視・測定のためのコスト	—	—	規制物質の分析・測定	49
	従業員への環境教育のためのコスト	—	—	セミナー、講習会参加	1
	事業活動に伴う自然保護、緑化、美化、景観保持等の環境改善対策のためのコスト	護岸工事	3	構内美化、緑地維持管理	29
4. 研究開発活動における環境保全コスト		—	—	環境保全に関する研究開発	2,193
5. 社会活動コスト		—	—	生物多様性プロジェクト活動発表会	1
6. 土壌汚染の修復など環境損傷に対応するコスト		—	—	汚染負荷量賦課金、漁業補償金	14
合計			2,435		5,025

対象範囲：リンテック（株）および東京リンテック加工（株）
参考ガイドライン：環境省「環境会計ガイドライン（2005年版）」

■ 目次

お客様のために……S2 / 29
CS(お客様満足)向上のために
品質保証

お取引先との協働……S4 / 29
CSR調達

従業員とともに(人権・雇用)……S6 / 29
人権と多様性(ダイバーシティ)の尊重
ワークライフバランス

従業員とともに(人材育成)……S14 / 29
人材育成

従業員とともに(安全防災)……S17 / 29
労働安全

地域社会とともに……S20 / 29
リンテックグループのCSR活動

CS（お客様満足）向上のために

- **ワンストップ開発の促進**
  — 活動実績
- **製品の情報開示**
  — 製品情報

ワンストップ開発の促進

活動実績

マテリアルズ・インフォマティクスの適用範囲拡大

2023年度は、マテリアルズ・インフォマティクスの適用範囲を拡大し、さまざまな開発品目にマテリアルズ・インフォマティクスの技術を活用することで、よりスピーディーな製品開発を目指せる体制を整えました。

製品の情報開示

参照先

> 製品情報
※ 製品情報ページ内に移動します。

品質保証

- **品質事故の予防と教育**
  — 品質事故件数･比率

品質事故の予防と教育

品質事故件数･比率（2010年度の件数を100%とした比率）

2023年度は2010年（基準年）から69%削減

年度	件数／月	比率（%）
2010（基準年）	49	100
2019	18	37
2020	17	35
2021	17	35
2022	15	31
2023	15★	31★

対象範囲：リンテック（株）（伊奈テクノロジーセンターを除く）および東京リンテック加工（株）、湘南リンテック加工（株）
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

CSR調達

- **サプライヤーの評価と改善**
  - アンケート対応状況
  - アンケートの調査項目（概要）
- **グリーン調達**
  - 実施した製品含有化学物質調査
  - リンテックグリーン調達方針
  - リンテック木材パルプ調達方針
  - リンテック原材料調達基本方針

サプライヤーの評価と改善

アンケート対応状況

原材料供給者評価アンケート依頼数	2023年度回答率（%）
51社66事業所*	87.9★

対象範囲：リンテック（株）
＊ 原材料のお取引先約500社のうち、取引金額やBCPの観点から選定した原材料供給者に限定してアンケート回答を依頼
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

アンケートの調査項目（概要）

経営	財務状況
調達	納期、デリバリー、コスト、BCP*、サービス、海外対応
品質	品質システム、工程管理
環境	認証取得状況、化学物質管理
CSR	法対応、企業倫理、人権尊重、情報セキュリティー

＊ BCP：Business Continuity Plan（事業継続計画）の略称。企業が事故や災害などの緊急事態に遭遇した場合、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために事前に策定された行動計画。

グリーン調達

実施した製品含有化学物質調査

	調査名
2023年度に実施した調査	chemSHERPA　Ver 2.08.00

リンテックグリーン調達方針

リンテック木材パルプ調達方針

リンテック原材料調達基本方針

参照先

> 会社方針一覧

人権と多様性（ダイバーシティ）の尊重

- **女性従業員の活躍推進**
  - 男性育児休業取得者
- **障がい者雇用**
  - 障がい者雇用人数と雇用率
- **ジョブリターン制度・キャリアリターン制度**
  - 制度の利用状況（累計人数）
- **高齢者雇用**
  - 高齢者雇用者数
- **社会貢献休業制度**
  - 制度の利用状況
- **労使関係**
  - リンテックフォーレストの状況
- **その他関連データ**
  - リンテックグループ従業員数と男女比率
  - 地域男女別従業員数
  - 海外拠点における現地従業員
  - 新卒3年以内の離職率
  - 平均勤続年数
  - 新規雇用者および退職者数
  - 就業規則などの改定実績

女性従業員の活躍推進

男性育児休業取得者

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
取得者数（人）	3	3	7	37	59★
取得権利者数（人）	69	66	79	62	68
取得率（%）	4.4	4.5	8.9	59.7	86.8★

対象範囲：リンテック（株）
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

障がい者雇用

障がい者雇用人数と雇用率

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
雇用人数(人)	57	54	57	61	61.5
通期雇用率(%)	2.2	2.0	2.0	2.26	2.23★
法定雇用率(%)	2.2	2.2	2.3	2.3	2.24

対象範囲：リンテック(株)
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 >★マークについてはこちら

ジョブリターン制度・キャリアリターン制度

制度の利用状況(累計人数)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
ジョブリターン制度	19	19	19	21	23
キャリアリターン制度	—	—	—	—	0

対象範囲：リンテック(株)

高齢者雇用

高齢者雇用者数

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
60歳	規定年齢到達者数(人)	45	38	53	54	51
	再雇用者数(人)	32	33	43	47	46
	再雇用割合(%)*	82	87	81	87	90
65歳	規定年齢到達者数(人)	—	—	15	23	26
	再雇用者数(人)	—	—	6	11	13
	再雇用割合(%)*	—	—	40	48	50

＊ 割合=規定年齢到達者数÷再雇用者数
対象範囲：リンテック(株)
※ 参考：再雇用先は原則グループ会社になりますが到達者などの対象者がリンテック(株)の所属者となります

社会貢献休業制度

制度の利用状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
社会貢献休業*1(人)	—	—	—	0	0
社会貢献休暇*2(人)	22	12	15	15	20★

＊1 会社が認めた期間(最長1年間)にわたる災害復旧・海外支援への協力など、社会貢献を目的とする活動に参加するための休業制度。
＊2 会社が認めた地域社会への協力、ボランティア活動など、社会貢献を目的とする活動に参加するための休暇制度。
対象範囲：リンテック(株)
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

労使関係

リンテックフォーレストの状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
会員数(人)	2,067	2,097	2,094	2,086	2,072
平均年齢(歳)	38.7	38.7	38.9	39.0	39.4
平均勤続年数	16年8か月	16年8か月	16年9か月	16年9か月	17年3か月

※ 各年度末現在。

その他関連データ

リンテックグループ従業員数と男女比率

		2020年度		2021年度		2022年度		2023年度	
		従業員数(人)	男女比率(%)	従業員数(人)	男女比率(%)	従業員数(人)	男女比率(%)	従業員数(人)	男女比率(%)
リンテック(株)	全体	2,618	—	2,628	—	2,620	—	2,618★	—
	男性	2,248	86	2,253	86	2,244	86	2,237★	85
	女性	370	14	375	14	376	14	381★	15
	男性管理職	495	98	486	98	496	97	499	97
	女性管理職	9	2	10	2	13	3	17	3
リンテックグループ	全体	6,199	—	6,221	—	6,548	—	6,527★	—
	男性	4,801	77	4,829	78	5,114	78	5,126★	79
	女性	1,398	23	1,392	22	1,434	22	1,401★	21
	男性管理職(監督職含む)	844	86	833	85	899	85	1,187★	84
	女性管理職(監督職含む)	141	14	145	15	159	15	232★	16

対象範囲：リンテック(株)および国内・海外グループ会社
(海外：2023年12月31日現在、国内：2024年3月31日現在)
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 >★マークについてはこちら

地域男女別従業員数

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
日本(人)	男性	3,032	3,076	3,075	3,103	3,073
	女性	670	677	689	684	671
	合計	3,702	3,753	3,764	3,787	3,744★
アジア(人)	男性	1,095	1,048	1,037	1,046	1,063
	女性	371	360	362	365	355
	合計	1,466	1,408	1,399	1,411	1,418★
その他(人)	男性	544	677	717	965	990
	女性	235	361	341	385	375
	合計	779	1,038	1,058	1,350	1,365
合計(人)	男性	4,671	4,801	4,829	5,114	5,126★
	女性	1,276	1,398	1,392	1,434	1,401★
	合計	5,947	6,199	6,221	6,548	6,527★

対象範囲：リンテック(株)および国内・海外グループ会社
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 >★マークについてはこちら

海外拠点における現地従業員

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
現地採用者数(人)	男性	1,639	1,725	1,754	2,011	2,053
	女性	606	721	703	750	730
	合計	2,245	2,446	2,457	2,761	2,783
うち管理職*(人)	男性	258	293	281	331	344
	女性	113	128	131	141	169
	合計	371	421	412	472	513

＊ 管理職：各国、各拠点での定義に従う。
対象範囲：海外グループ会社

新卒3年以内の離職率

	2021年 新入社員	男性	女性
入社(人)	66	50	16
退職(人)	11	7	4
離職率(%)	16.7	14.0	25.0

対象範囲：リンテック(株)

平均勤続年数

	全従業員	男性	女性
平均勤続年数(年)	19.8	20.3	16.8
平均年齢(歳)	42.3	42.8	39.4

対象範囲：リンテック(株)

新規雇用者および退職者数

		男性	女性	合計
新規雇用者(人)		80	20	100
総雇用数に対する割合(%)		3.58	5.25	3.82
内訳	18~19歳(人)	39	2	41
	20~29歳(人)	32	16	48
	30~39歳(人)	4	2	6
	40~49歳(人)	4	0	4
	50~59歳(人)	0	0	0
	60歳~(人)	1	0	1
総雇用数(人)		80	20	100

対象範囲:リンテック(株)

			男性	女性	合計
退職者(人)			82	16	98
内訳	(1)定年退職(人)		4	1	5
	(2)グループ会社転籍・契約満了(人)		4	0	4
	(3)自己都合退職(人)		70	15	85
	内訳	18~29歳(人)	34	10	44
		30~39歳(人)	20	3	23
		40~49歳(人)	10	1	11
		50~59歳(人)	5	1	6
		60歳~(人)	1	0	1
	(4)その他の理由(人)		4	0	4

対象範囲:リンテック(株)

就業規則などの改定実績

就業規則*	定年年齢変更 選択定年	定年を満65歳の誕生日とする。60歳以降、誕生日をもって選択定年を可とする(2023年4月)
就業規則 懲戒	減給の廃止	懲戒内容の「減給」を廃止(2024年1月)
就業規則 解雇および退職	連絡がつかない場合の規定追加	無断欠勤が続き、会社と連絡が取れない日数が30日経過した場合、退職扱いとする(2024年2月)
給与規程	雑則(賃金計算上の時間数)	賃金計算の基準を5分単位から1分単位に改定(2024年1月)

＊ 併せて定年再雇用規程、給与規程見直し

ワークライフバランス

- **メンタルヘルス対策**
  - 心の健康診断受診率
- **禁煙対策**
  - 健康促進手当支給率
- **その他関連データ**
  - 各制度の利用状況

メンタルヘルス対策

心の健康診断受診率

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象者数（人）	3,660	3,729	3,671	3,693	3,696
受診率（%）	94.2	91.2	96.4	97.5	95.3

対象範囲：リンテック（株）および国内グループ会社

禁煙対策

健康促進手当支給率

単位（%）

導入時	2021年度	2022年度	2023年度
57.6	67.6	67.9	68.8

対象範囲：リンテック（株）

その他関連データ

各制度の利用状況

制度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
介護休業制度 (人)	0	1	0	1	3★
介護休暇制度 (人)	2	3	3	1	2★
保存休暇制度 (人)◆	92	71	104	275	140★
出産休暇制度 (人)	20	14	25	15	19★
育児休業制度 (人)	41	34	32	48	76★
(うち男性)	3	3	7	37	59★
育児休暇を取得する権利を有していた従業員(人)	90	76	99	74	85
(うち男性)	69	66	79	62	68
報告期間中に育児休暇から復職した従業員 (人)	21	14	26	49	81
(うち男性)	2	3	7	37	66
育児休業の取得率(%)	21.6	15.8	32.3	64.9	89.4★
(うち男性)	4.4	4.5	8.9	59.7	86.8★
育児休業後の復帰率(%)	100	93.3	100	100	98.8★
子の看護休暇制度 (人)◆	13	7	4	4	6★
時短・時差勤務制度 (人)	57	62	64	60	69★
社会貢献休暇制度 (人)◆	22 (延べ40日)	12 (延べ16日)	15 (延べ23日)	15 (延べ19.5日)	20★ (延べ28日)
有給休暇取得率 (%)	66.5	61.7	63.5	72.7	76.5★
平均有給休暇取得日数	12.4	11.8	12.1	13.9	15.0★

対象範囲：リンテック(株)
◆は育児目的として使用可能な休暇制度。
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 >★マークについてはこちら

人材育成

- **全社階層別研修とキャリアデザイン**
  - 2023年度研修内容と受講者数
  - 2023年度全社研修総時間
- **CSR勉強会**
  - 行動規範ガイドラインによる意識啓発
- **情報セキュリティー教育**
  - 情報セキュリティー
- **技術に親しむ会**
  - 技術に親しむ会の実施内容
- **自己啓発通信研修**
  - 自己啓発通信研修受講者数
- **語学研修**
  - 語学研修受講者数

全社階層別研修とキャリアデザイン

2023年度研修内容と受講者数

研修内容		受講者数（人）
①新任管理職研修	管理職として必要なマネジメントの知識、スキルの習得および現場における実践力を習得する。	25
②新任監督職研修	現場のリーダーに必要なマネジメントの知識、スキルを習得する。	34
③5年目フォロー研修	これまでを振り返りながら求められる役割を認識し、今後さらに必要となる後輩育成力について体験学習を中心に学ぶ。	36
④3年目フォロー研修	2年目を振り返って現状をグループで討議することにより、今後の目標について明確にする。	32
⑤新入社員研修	ビジネススキルと業務関連知識、自社特有スキルの基礎を習得する。社会人・職業人としての基本的な常識、職業理論などを理解する。	37
⑥職場環境改善のためのハラスメント研修（オンライン研修／録画視聴）	さまざまなハラスメントが職場環境に与える影響を理解し、生き生きと働ける職場環境づくりの構築を目的とする。	1,255
⑦営業職法務研修（オンライン研修）	営業活動における取引上の法的トラブルや契約違反・法令違反を未然に防止し、これらの問題が発生するおそれがある場合に迅速・適格に対処できるよう、取引、契約にかかる法律スキルを習得する。	746（延べ人数）
⑧リタイアメントプランニング研修（オンライン研修）	ライフイベントにおける支出など、今後充実した生活を送るために必要な資産形成について学び、健全な財産形成および仕事に専念できる環境の構築を目的とする。	270
⑨女性のためのキャリアアップ研修	将来の女性管理職・監督職比率の向上へ向け、仕事と家庭の両立も考慮しながら、女性のキャリア促進について学ぶ。	27

対象範囲：①～⑤、⑧、⑨：リンテック（株）
⑥、⑦：リンテック（株）および国内グループ会社

2023年度全社研修総時間

研修時間	受講者数	一人当たり時間
5,834.5時間★	2,425人★	2.3時間

対象範囲：リンテック(株)および国内グループ会社
※ 時間把握が可能な研修のみ算出。
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 >★マークについてはこちら

CSR勉強会

行動規範ガイドラインによる意識啓発

参照先

> リスクマネジメント(ガバナンス報告)

情報セキュリティー教育

情報セキュリティー

参照先

> コンプライアンス(ガバナンス報告)

技術に親しむ会

技術に親しむ会の実施内容

2023年度は昨年同様コロナ禍を鑑み、対象を経営層に限定して実施しました。テーマは「リンテック・サステナビリティ・プラン」と題し「LSV 2030」達成に向けたCO_2排出量の削減や持続的成長を目指した技術の開発状況についての施策を紹介しました。

自己啓発通信研修

自己啓発通信研修受講者数

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
受講者数(人)	228	221	234	231	230
修了率(%)	70	80	79	77	83

対象範囲：リンテック(株)

語学研修

語学研修受講者数

	2023年度
語学研修受講者数(人)	6

対象範囲：リンテック(株)

労働安全

- **労働安全衛生方針**
  - リンテック労働安全衛生方針
  - リンテック安全衛生マネジメントシステム組織図（本社・営業部門を除く）
  - リンテック「安全衛生文化」の創出に向けて
- **休業災害ゼロに向けて**
  - 休業災害の発生状況
  - 2023年度完全無災害達成事業所
  - 事業所の取り組み
  - トップパトロールを実施した生産拠点

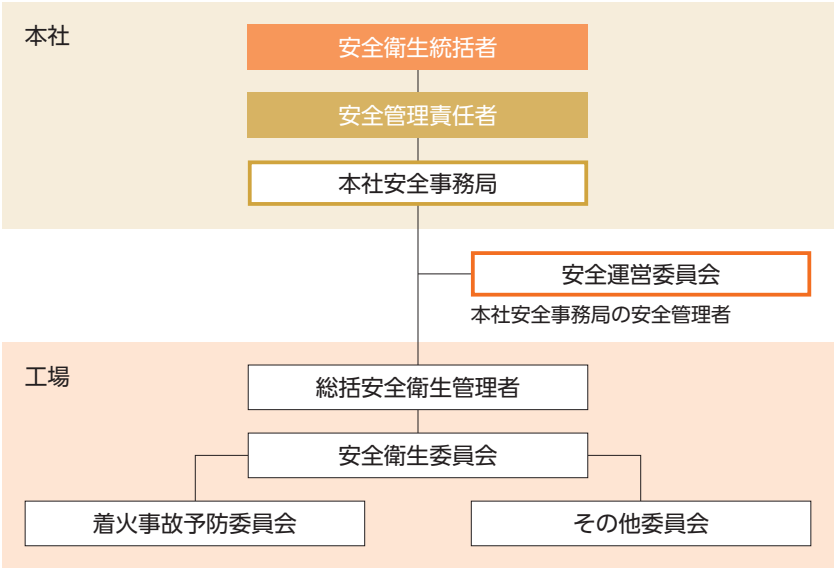
労働安全衛生方針

リンテック労働安全衛生方針

参照先

> リンテック労働安全衛生方針（会社方針一覧）

リンテック安全衛生マネジメントシステム組織図（本社・営業部門を除く）



リンテック「安全衛生文化」の創出に向けて

休業災害ゼロに向けて

休業災害の発生状況

2023年度は火傷による休業災害、腰痛による休業災害、挟まれによる休業災害が各1件発生しました。
災害の要因とリスクアセスメントの結果が結び付くものはありませんでした。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
罹災者(人)	0	0	0	0	3
発生件数(件)	4	1	2	4	3
休業日数(日)	315	3	52	91	50
災害度数率*1	0.75	0.19	0.37	0.76	0.57★
災害強度率*2	0.0488	0.0005	0.0078	0.0142	0.0077★
発生場所	リンテック(株) 協力会社	協力会社	リンテック(株)	リンテック(株) 協力会社	リンテック(株) 協力会社

※ 対象範囲：リンテック(株)の生産工場および研究所、東京リンテック加工(株)
＊1 度数率：100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表す。
＊2 強度率：1,000延べ実労働時間当たりの労働損失日数で、災害の重さの程度を表す。
★マークを表示した数値は、SGSジャパン株式会社の第三者検証を受けています。 ＞★マークについてはこちら

2023年度完全無災害達成事業所

事業所	達成時間
新宮事業所	450万時間
千葉工場	200万時間
吾妻工場	150万時間
三島工場	100万時間
研究開発本部	100万時間

事業所の取り組み

事業所	取り組み内容
熊谷工場	構内工事における工事協力会社の災害防止を目的に、年3回工事業者が工場に集まり定期安全協議会を開催しています。危険性(ハザード)の特定と排除、リスクの最小化のために、定期的なリスクアセスメントや災害発生時、設備導入時などの臨時のリスクアセスメントを行っています。

トップパトロールを実施した生産拠点

リスクアセスメントを強化し、不安全箇所の改善と対策を講じ、完全無災害を達成させる一環として、社長によるトップパトロールを実施しています。

事業所	実施日
伊奈テクノロジーセンター	2023年8月30日
小松島工場	2023年9月25日
三島工場	2023年9月26日
研究開発本部	2023年10月24日
東京リンテック加工(株)	2023年10月24日
千葉工場	2023年10月25日
熊谷工場	2023年10月30日
湘南リンテック加工(株)	2023年11月7日
吾妻工場	2023年11月14日
龍野工場	2023年11月29日
新宮事業所	2023年11月30日

リンテックグループのCSR活動

2023年度CSR活動実績【国内】

分類	拠点	活動名
全体での活動	本社、大阪支店、吾妻工場、三島工場、土居加工工場、龍野工場、新宮事業所、千葉工場、東京リンテック加工(株)、熊谷工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所	団体献血(延べ412名)
	吾妻工場、熊谷工場、千葉工場、龍野工場、新宮事業所、三島工場、小松島工場、伊奈テクノロジーセンター、研究所、東京リンテック加工(株)	美化清掃活動(延べ1981名)
	本社、春日、大阪、千葉工場、熊谷工場、龍野工場、新宮事業所、研究所、東京リンテック加工(株)	ペットボトルのキャップ・使用済切手の回収
	千葉工場、伊奈テクノロジーセンター	赤い羽根募金
	全社	能登半島地震支援金
次世代育成	東京リンテック加工(株)、研究所、熊谷工場、龍野工場、伊奈テクノロジーセンター	工場見学受け入れ
	本社	くらりか*への支援
地域安全活動	千葉工場、文京春日オフィス	AED・心肺蘇生講習会
	全社	防災訓練
	熊谷工場、龍野工場、三島工場、研究所、伊奈テクノロジーセンター	地元消防団への支援
	本社	板橋警察署　武道始式
	本社	富阪警察署　武道始式
	研究所	蕨市防火協会役員会
	龍野工場	たつの防火協会自衛消防競技会
環境保全	熊谷工場	熊谷エコライフフェア
	千葉工場	チューリップ球根植え
	熊谷工場	江南行政センター地球温暖化対策
	熊谷工場	くまがやエコライフフェア2023
	千葉工場	神宮寺浜　海岸保全
	伊奈テクノロジーセンター	バラ植栽(伊奈町バラ苗配布事業)
	熊谷工場	ホタルを保護する会ほたる祭り
	熊谷工場	ホタルを保護する会　竹の子狩り

分類	拠点	活動名
障がい者支援	本社	障がい者福祉施設が製造・販売するパンの購入
	本社	障がい者就労研修
	本社	ふれあいコンサート
	リンテックサインシステム(株)	ふれあいコンサート装飾協力
	本社	東京ドーム野球観戦ご招待
	リンテックカスタマーサービス(株)	フードドライブ(未利用食品回収寄付)
地域の祭事などへの協賛・支援	熊谷工場	熊谷うちわ祭
	熊谷工場	熊谷花火大会
	研究所	蕨市わらんちゅフェスティバル
	研究所	中仙道武州蕨宿宿場まつり
	新宮事業所	六條八幡神社安全祈願祭
	新宮事業所	六條八幡神社秋祭り
	龍野工場	3地区子供会六條八幡神社神輿
	千葉工場	そうさチューリップ祭り
	伊奈テクノロジーセンター	2023伊奈祭り
	三島工場	三島神社氏子会
	三島工場	上柏公益会(疏水感謝祭)
	研究所	わらび機まつり
	三島工場	大僧自治会
	三島工場	伊予三島秋祭り
	三島工場	四国中央市土居夏まつり 花火大会
	三島工場	湖水まつり
	三島工場	みなと祭り花火大会
	吾妻工場	東吾妻ふるさと祭
	湘南リンテック加工(株)	地元催事への寄付

＊くらりか：(社)蔵前工業会の蔵前理科教室ふしぎ不思議の略称。

参照先

＞くらりか
※ 外部サイトへ移動します。

2023年度CSR活動実績【海外】

分類	拠点	活動名
献血	リンテック・コリア社	団体献血による生命分かち合いボランティア活動
	リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社	住華社同構内の献血活動
	リンテック・タイランド社	タイ赤十字による定期献血活動
	リンテック・タイランド社	ウェルグロー工業地帯の献血
	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社	工業団地のSECA主催献血活動に参加
	マディコ社	献血バスを招き社内献血
環境保全	リンテック・コリア社	会社周辺の河川ごみ拾い
	リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社	会社周辺の清掃実施・社内の清掃実施
	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社	Telok Melano Beach で清掃
	リンテック・クアラルンプール社	工場周囲の草や枯葉の清掃
	リンテック・タイランド社	ウミガメ保護施設の池の清掃に参加
	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	サステナブルな地球を願うお客様に代わって植樹活動
	マディコ社	アースデイにゴミ拾い
	マディコ社	ボートランプに設置されたモノチューブでの釣り糸を回収
	VDI社	アースデイにゴミ拾い
	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社	Samunsam Wild life Sanctuaryにドリアン、ランブータンを200本植樹
	リンテック・インダストリーズ(サラワク)社	Green Week として家庭などの不用品を分別収集
地域支援	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	発達障害子供のボランティア活動
	リンテック・シンガポール社	障がいを持つ人の仕事支援サービスへの継続的なサポートとしてスリット済みの熱転写リボン提供
	リンテック・コリア社	赤十字希望パン作りに参加し、手作りパンを保育院に配る
	リンテック・コリア社	敬老堂(8か所)に名節愛分かち合いイベントを実施
	リンテック・コリア社	キムチ渡しボランティア活動
	リンテック・コリア社	支援が必要な家庭50軒に米500kg後援
	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	永安兒童之家(児童養護施設)への社員からの募金
	リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社	サイエンスパークお寺への減炭寄付
	リンテック・インドネシア社	イスラム教犠牲祭のため牛1頭を近隣地域に寄付
	リンテック・タイランド社	LTの廃棄物をリサイクルして作製した学習器具を寄付
	リンテック・タイランド社	チュンブリー幼稚園に装飾用に紙を寄付
	リンテック・フィリピン(ペザ)社	ラグナ州ビナン市孤児院に寄付
	リンテック・フィリピン(ペザ)社	ビニャン州にあるマラバン幼稚園へ学習物資や食べ物を寄付

分類	拠点	活動名
地域支援	リンテック・インディア社	PM Cares Fundsに690,000ルピー寄付
	マディコ社	NPO団体、Salvation Armyの古着ストアへ、10袋の衣服を寄付
	マディコ社	カナダがん協会の資金集めをするRaymond Floyd 年次ゴルフトーナメントにブロンズスポンサーとして参加
	マディコ社	ザンビアやエチオピアのきれいな水を届けるプロジェクトに寄付
	マディコ社	リールマン消防署、フロリダドリームセンターとパートナーシップを結び、乾燥食品、缶食品、衛生品を集め、援助を必要とする地域の子供達や家族に寄付
	マディコ社	マディコ従業員で文房具を集め、募金も含め、フロリダドリームセンターに寄付
	マディコ社	てんかんサービス財団(Epilepsy Services Foundation)に寄付
	マディコ社	ホリデートイドライブ。身の回り品や募金を、フロリダドリームセンターに寄付
	VDI社	マッチングギフト方式で動物愛護団体へ寄付
	VDI社	学用品を集め地域の小学校に寄付
	VDI社	米国海兵隊のToys for Totsプログラムにおもちゃを寄付
	VDI社	「クリスマス・シューズ」という団体を通じ、恵まれない子供たちへのプレゼントを梱包・仕分けに参加
	VDI社	国立墓地に花輪をお供え
	VDI社	地域の動物愛護協会に参加し里親を探す犬や猫の支援や世話
	マックタック・アメリカ社	スナックアタックの実施
	マックタック・アメリカ社	ブルドッグバッグ
	マックタック・アメリカ社	無料の小さな図書館の開催。マイクロマーケットの開設
	マックタック・アメリカ社	トールマッジユースブースターへの寄付
	マックタック・アメリカ社	市立学校のためにパンケーキミックスとシロップの収集
	マックタック・アメリカ社	Child's Hungar Outreach Partner のボランティア
	マックタック・アメリカ社	おむつ必要性啓発週間のための Diaper Drive への参加
	マックタック・アメリカ社	フードバンクに食品寄付
	マックタック・アメリカ社	議会を通じて地元のディナーを後援し、オークションにカヤックを寄付
	マックタック・アメリカ社	サンクスギビングのためのターキー受け取り、フードバンクへの寄付
	マックタック・アメリカ社	スープカップやGoldfishやお箸、ティッシュなどを寄付
	マックタック・アメリカ社	地元の学区の子供たちにギフトを提供

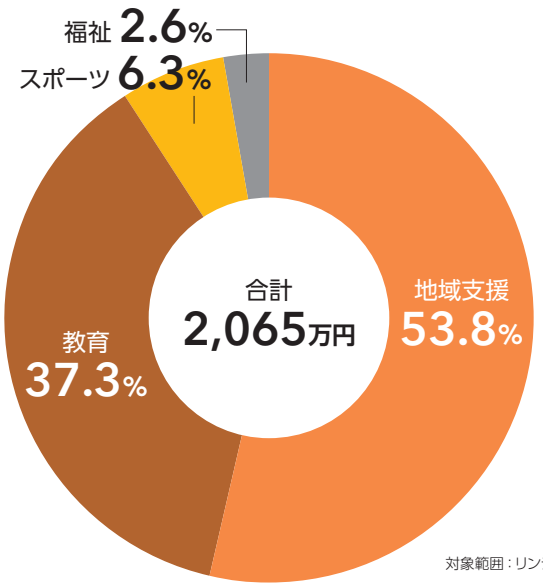
2023年度工場・施設での受け入れ

事業所名	実施日	実施内容	参加者数(人)
東京リンテック加工(株)	2023年11月30日	蕨市立西小学校2年生　まち探検	25~26
	2023年12月27日	職場見学　川口工業高校	1
東京リンテック加工(株)／研究所	2024年3月7日	2023年環境コミュニケーション	13
熊谷工場	2023年8月4日	2024年度採用高校生 工場見学	1
	2023年8月8日	2024年度採用高校生 工場見学	1
龍野工場	2023年8月3日	高校求人の応募前見学　佐用高校	6
	2023年8月8日	高校求人の応募前見学　龍野北高校	2
		コロナ禍により、トライアルウィークとインターンシップの受け入れ無し	
伊奈テクノロジーセンター	2023年7月28日	高校生採用:会社見学受け入れ	4
	2023年11月30日	2025年度大卒・院卒　オープンカンパニー	2
	2023年12月14日	2025年度大卒・院卒　オープンカンパニー	4

活動に対する主な表彰

拠点	活動名
龍野工場	交通安全協会　チャレンジ100達成(3チーム中1チーム)
龍野工場	たつの防火協会 自衛消防競技会 参加(消火栓:3位　消火器:敢闘賞)
三島工場	国土地理院「測量の日」地図の普及に対する功績への感謝状授与
三島工場	愛媛労働災害防止団体協議会会長表彰で産業安全優良賞を受賞
伊奈テクノロジーセンター	ITC交通分科会 一社)埼玉県安全運転管理者協会主催「R6年度優良安全運転管理者等表彰式」において、中村勝彦課員が優良運転者として表彰。

コミュニティ支援費用実績



対象範囲：リンテック(株)

CSR活動事例

グローバル企業としての責任を果たすため、国内外グループ各社において地域に根ざしたCSR活動を推進しています。

マックタック・アメリカ社　地域支援

本社
Christina Barajas
（クリスティーナ・バラハス）

ローションを買ったのに、使ったあとの匂いが気に入らなかったことはありませんか。または、ドッグフードを買ったのに、犬がまったく食べてくれなかったことはありませんか。返品しにくい品物もありますが、捨てるのはもったいない気がします。当社では従業員が新品または使用済みの不要品を持ち寄って、ほかの従業員が利用できるようにするためのエリアを設けフリーサイクル*を行っています。

年間を通じて、保存食、ペットフード、シャンプー、ローション、キャンドル、「小さな図書館」と称した本などが共有されました。秋冬にはクリスマスなど祝日用の装飾品、春夏には植物など、交換イベントの開催もしています。

＊フリーサイクル：無償で不用品を交換しあう運動

「小さな図書館」

スクラントン工場
Adam Stefansky
（アダム・ステファンスキー）

当社のスクラントンチームでは、セント ジョセフ センターを支援する「ベビーパントリー」活動を行っています。

おむつ、おしりふき、衣類、チャイルドシート、ギフトカードなどを集め、それらを必要としている地域の人へ提供しています。

アメリカでは、母親の3人に1人が赤ちゃんのおむつ不足に悩まされていると報告されています。

さらにチームでは、将来の慈善活動に関する提案の場を提供するために、エンゲージメント委員会の活動を活性化していきます。

ベビーパントリー活動の案内

マディコ社　地域支援

CSR委員会
Aya Killgo
（キルゴ・亜矢）

2023年12月、クリスマス用に子供たちやティーンエージャーからの「欲しいものリスト」をもとに、トイドライブ*を行い、不要になったおもちゃを持ち寄りました。

そのほかにも寄付として集められたスポーツ用品や雑貨も、募金と合わせて非営利団体であるフロリダドリームセンターに寄付しました。

＊トイドライブ：使われなくなったおもちゃを回収し寄付する活動

参加したメンバー

VDI社　地域支援

CSR委員会
Toni Doughty
（トニー・ドーティ）

毎年ザカリー・テイラー国立墓地では、ホリデーシーズンに、バルサム・モミでつくられた手づくりのリースが何百もの退役軍人のお墓に供えられ、墓地を埋め尽くすほどになります。

当社のCSRチームはリースを寄付し、墓地の装飾の準備と、クリスマスホリデー後の片付けを手伝いました。それぞれのリースには戦死した兵士の名前が記されており、墓石の下に置かれます。私たちはその後のカラーガードセレモニーにも出席し、退役軍人に敬意を表しました。

退役軍人に敬意を表すことは、一般の人々に国家に捧げた命を伝えることに役に立つだけではなく、ここを訪れる家族のために清潔で装飾された場所を提供することにもつながります。

参加したメンバー

リースで装飾をするようす

リンテック・オブ・アメリカ社　ナノサイエンス&テクノロジーセンター　環境保全

管理係
Veronica Granado
(ヴェロニカ・グラナド)

電池は有害な廃棄物であると考え、リサイクルを検討するため調査をすると、埋め立て地に廃棄される有毒物質が土壌や地下水の汚染につながることや、リサイクルされた電池を使用することで、天然資源が節約できることが分かりました。そのため当社は、2019年よりCirba Solutions社の電池リサイクルサービスを活用しています。

これからも環境保護と資源の有効利用のための活動をしていきます。

リサイクルボックス

琳得科(蘇州)科技有限公司　環境保全

工務部
劉 仕平
(リュウ・スピン)

2021年10月、中国政府はカーボンニュートラルを実現する具体的な脱炭素計画・行動指針として「2030年までのカーボンピークアウトに向けた行動方案」を発表しました。

これを受けて当社においてもCO_2排出量削減を目的に、2023年6月に第一工棟屋根に太陽光発電設備を設置。既存の第二工棟屋根の太陽光発電と合わせると1,192kWp*になりました。発電量は1,247,691kWh/年となり、738t-CO_2/年の排出量削減ができる見込みです。

これからも社員一丸となってカーボンニュートラルの実現に向けチャレンジしていきます。

＊ kWp(キロワットピーク)：自然エネルギー発電の発電設備容量の単位

太陽光発電表示パネル

リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(上海)社　安全

アプリケーションエンジニア
古野 健太
(ふるの けんた)

2024年2月に専門家による全従業員向けの救急救命講習会を開催しました。人形を用いたAEDのデモや心臓マッサージを体験しました。特に、心臓マッサージ体験では鼓動を意識して的確な速さで行う必要があるというポイントに、多くの関心が集まっていました。幼児向けの心臓マッサージ方法などレベルの高い内容も含まれており、満足度の高い講習会となりました。

今回の救急救命講習を経て、異変を見つけた時は積極的に声掛けをするなど周囲へ気を配る意識を持つことができたと感じています。

講習会のようす

リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社　環境保全／地域支援

総務人事部
Lee Ssu-Chieh
(リー・スージエ)

2023年12月、当社は台湾の高雄市にある茄萣(かてい)で在来種のモモタマナ、サキシマハマボウ、イボタクサギを300本植えました。2018年にこの活動を開始してから植樹の本数は、合計で1,125本になりました。さらに今年は、植樹だけでなく樹木の保全活動として雑草の除去も行いました。

また、2023年から発達障害の子供向けの支援活動として、支援センターのボランティアに参加しています。屋外の活動では子供と一緒に近所を散歩(車椅子を押したり、子供と手をつないだり)、公園で滑り台の階段上りを練習するなど、遊びながら環境に適応することをサポートしました。屋内では子どもの身体機能の強化と手足の動きをうまくコントロールできるようサポートしました。

これからも地球や社会を考えながら社会貢献活動に努めていきます。

植樹のようす

屋外でのボランティア活動

リンテック・コリア社　地域支援

資材課
Han, Jae-Hyung
(ハン・ゼヒョン)

2023年5月、大韓赤十字社「愛のパン作りボランティア」活動に、従業員が自主的に運営しているボランティアサークル「オンマウム会」のメンバー12名が参加しました。

専門家の助けをお借りし、心を込めてパンとクッキーをつくり、会社の近くにある児童保育施設「忠北保育院」に届けました。

短い時間でしたが、分かち合いの精神を実践することができ、有意義な時間となりました。

参加したメンバー

リンテック・シンガポール社　環境保全

品質保証/生産
マネージャー
Joseph Goh
(ジョセフ・ゴー)

全従業員が参加する公園清掃を企画し以下のことを意識しながら、2023年10月に活動を行いました。

1. 全ての訪問者が楽しめるように公園を清掃し、美化すること。
2. コミュニティへの関与と環境管理を促進すること。
3. コミュニティのメンバーがボランティア活動や協力を行う機会を提供すること。

公園清掃は大成功で、全員が力を合わせることで前向きな変化をもたらしました。一生懸命活動し、学び、喜びに満ちた一日となり、公園とコミュニティに対し持続的な効果があったと思います。私たちは、清潔で緑豊かな公園を楽しみながら、共有の空間と、団結することの大切さを実感しました。

参加したメンバー

リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社　環境保全

エンジニアリング オフィサー
Logeswaran
(ロゲスワラン)

当社は生物多様性の保全活動としてマングローブの植樹を継続して行っています。

2023年は、社内の教育訓練推進委員会が企画し、6月22日と27日にペナン州のセブラン・プライ地区で、ペナン沿岸漁業保護協会の方々と行いました。感染症防止を考慮して、参加人数を各日15名ずつの計30名に絞って行い、合計200本のマングローブの苗を植えることができました。自然環境保護活動に貢献することができて、参加者全員満足しています。

参加したメンバー

リンテック・インダストリーズ(サラワク)社　環境保全

財務／管理アシスタント
YUK LIN
(ユッ・リン)

2023年10月、サマンサン・ワイルドライフ自然保護区での植樹とビーチ清掃を行いました。

はじめに、サラワクフォレストカンパニーのスタッフから植樹作業について説明を受けました。この活動は、野生生物の生息地を保護、生態系を維持し、洪水や地滑りを防ぐのに役立っています。参加者25名は同社のスタッフの助けを借りてドリアン、ランブータン、マンゴスチンなどの果樹200本の植樹を完了することができました。

その後、テロック・メラノ・ビーチでビーチ清掃を行いました。この活動を行うことで従業員や利用者の意識を高め、将来の世代のために私たちのビーチと海を守り、保全を可能にします。

参加したメンバー

ビーチ清掃のようす

リンテック・インディア社　地域支援

小高 淳平
（おだか じゅんぺい）

インドでは一定の要件を満たす企業は、直近3会計年度の純利益の平均2%以上をCSR活動に支出することが義務付けられており、当社も毎年貢献できるよう、利益確保に努めています。

寄付をする場合、団体は自由に選ぶことができ、当社はPM Cares Fund（Prime Minister's Citizen Assistance and Relief in Emergency Situation）に毎年寄付をしています。同団体は国の緊急事態に備えた基金で、直近ではコロナ禍で大きな支援の役割を果たしました。

リンテック・タイランド社　環境保全

人事総務部
Chawinda Isarankura
Na Ayudhya
（チャウィンダー・イサラングーン・ナ・アユタヤ）

2024年2月、当社は海ガメ養殖池の清掃活動に参加しました。180名の従業員は、チョンブリー県サッタヒープ郡にある海ガメ保護センターを訪問し、カメの生態に関する展示を見学した後、養殖池の清掃を手伝いました。

母ガメが産卵したあと、卵は保護センターと養殖場に運ばれ、3か月間飼育され、赤ちゃんガメは健康な状態で海へと放流されます。

参加したメンバー

清掃活動のようす

リンテック・フィリピン（ペザ）社　地域支援

品質保証 /
ISOファシリテーター
Chezny Happy Casin
（チェズニー・ハッピー・カズィン）

当社では、教育こそが個人と社会の成長・発展の最も重要な基盤であると強く信じています。

社会的責任と持続可能な環境づくりに取り組む中で、ビナン市地方自治体と提携して、マラバン小学校の生徒100名に学用品配布と食料提供プログラムを実施しました。

学用品を受け取った子供たちの溢れる喜びと感謝の気持ちに接し、私たちはコミュニティに対する充実感と希望を感じました。子供たちには新しいことを学び、発見しながら、心躍る楽しい体験をしてもらうことができました。

マラバン小学校の生徒たち

東京リンテック加工株式会社　地域支援

事務部
石井 貢
（いしい みつぎ）

当社は、国際保険医療協力活動として社内でペットボトルキャップの回収を行いました。2023年度は、年間13,398個、重量にして31.16kgを集め「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へ送ることができました。これは、ポリオワクチン15.5人分に相当します。

また、使用済み切手の回収も行い、「日本国際ボランティアセンター」へ送ることで、紛争などで厳しい日常生活を過ごす子供たちへの支援に役立てました。

回収したペットボトルキャップ

リンテックコマース株式会社　安全防災

地震や水害などが頻繁に発生する日本において、災害に備えることは、社員の安全を守り、事業を継続していくうえで大切なことだと考えています。そのために、防災用品の備蓄を行っているほか、入居しているビルにおいて定期的に開催されている避難訓練および消火訓練に参加しています。

避難訓練では経路を確認しながら避難を行うことによって、実際に災害が発生した時に混乱せず避難および誘導できるよう訓練しています。また、消火訓練では、水の入った消火器を用いることで、いざという時に慌てず、迅速な消火活動ができるよう訓練しています。

訓練のようす

リンテックサインシステム株式会社　環境保全

当社では環境に配慮したサイングラフィックス製品を紹介する機会として、2023年6月に大阪、10月に東京で開催されたサインディスプレイ関連の展示会に出展しました。

また、会期中にはお客様をお招きしたユーザー様会を開催し、リンテックの環境配慮製品の開発状況の説明や、新製品のリサイクルPET、バイオマスなどの素材を活用したインクジェット用メディアの勉強会を実施しました。

今後もお客様が求める環境配慮製品を提案・提供できるよう市場需要の把握に努めていきたいと考えています。

ユーザー様会のようす

湘南リンテック加工株式会社　地域支援

郵便物に貼付された切手を切り取り、地道に集めた使用済み切手215gを「日本キリスト教海外医療協力会」に寄付しました。

この使用済み切手は、国際保健医療協力のために使われます。例えば、約5,000枚（約1kg）でタンザニアの看護学生1人の1年分の教科書代になります。ペーパーレス化により郵便物は減少していますが、協力して活動をしています。協力団体として、この協力会のサイトに当社名が掲出されました。

使用済み切手を集めるようす

リンテックカスタマーサービス株式会社　地域支援

社会貢献活動の新たな取り組みとして、2024年2月から社員食堂の一角にフードドライブの回収ボックスを設置しました。

フードドライブとは、家庭で余っている未開封で賞味期限に余裕のある食品を持ち寄り、子供食堂や支援が必要な方に寄付する活動です。

回収ボックス

■ 目次

コーポレートガバナンス ..... G2 / 3

コンプライアンス ..... G3 / 3

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンス強化の取り組み

年度	取り組み
2004年	初めて社外取締役を選任
2006年	「監査室」を新設
	役員報酬制度を改革(「退職慰労金」廃止、「株式報酬型ストックオプション」導入)
	「評価報酬諮問会議」を新設(役員報酬の妥当性を確認する会議体)
2008年	「CSR推進室」を新設
	社外取締役が2人体制に
2011年	執行役員制度を導入し、取締役を大幅減員(18人→10人)
2015年	「監査等委員会設置会社」へ移行(以前は「監査役会設置会社」)
	取締役16人体制(監査等委員である取締役4人を含む)となり、うち4人が社外取締役
	「コーポレートガバナンス・コード」の各原則を全て遵守・実施
2018年	役員報酬制度を改革(役員の自社株保有促進のため、長期インセンティブ報酬を「株式報酬型ストックオプション」から「譲渡制限付株式」に変更)
	「大規模買付ルール」(いわゆる「買収防衛策」)を廃止
	取締役会の諮問機関として、独立社外取締役を議長とする「コーポレートガバナンス委員会」を新設(独立社外取締役2人および代表取締役1人で構成し、役員の報酬・人事に関し妥当性を確認する委員会。これに伴い「評価報酬諮問会議」は解消)
2021年	社外取締役が5人体制に
	独立社外取締役比率が1／3(12人中4人)に
	「コーポレートガバナンス委員会」の構成・機能を拡充。委員は独立社外取締役全員および代表取締役全員ならびに社外有識者とし、過半数を独立社外取締役としたうえで、委員長を独立社外取締役の中から選任。役員の指名および報酬の妥当性を確認し、コーポレートガバナンス全般に関する意見形成、助言・提言なども行う
	「コーポレートガバナンス委員会」を「指名・報酬委員会」に改称

2023年度法務研修

実施月	対象	内容
2023年7月~2024年1月	営業職	営業職向け法務研修(全6回)
2023年9月	取締役および執行役員	最近の法務トピックス
2023年10月	新任管理職	管理職として知っておくべき法的リスク
2023年11月	新任監督職	監督職として知っておくべき法的リスク
2024年1月	取締役および執行役員	ディスクロージャーに関する最新動向

コンプライアンス

発行したリーガルニュース

発行	No.	タイトル
2023年度	No.57	2023年4月から2024年3月までのニュースまとめ
	No.56	うっかりでは済まない!性能・品質表示の間違い
	No.55	販売品に不具合があり購入者から多額の請求、どこまで負担が必要?
	No.54	自分には関係無い?社員も守るコーポレートガバナンス
	No.53	指導のつもりがパワハラの訴え、その違いは?
	No.52	部下の不正による損害、上司が弁償する必要ある?
2022年度	No.51	2022年4月から2023年3月までのニュースまとめ
	No.50	退職した先輩社員から社内資料の送付依頼、送っても良い?
	No.49	インボイス制度に伴う、注意が必要な行為(下請法、独占禁止法からみたリスク)
	No.48	インボイス制度ってなんだろう?
	No.47	公益通報者保護法改正と当社内部通報制度の改定について
	No.46	最近の「独占禁止法」違反事件
2021年度	No.45	2021年4月から2022年3月までのニュースまとめ
	No.44	東証一部がなくなる!?生まれ変わる東京証券取引所
	No.43	ペーパーレスは止まらない…電子契約と改正電子帳簿保存法
	No.42	マンガや映画だけじゃない?!意外と知らない著作権
	No.41	もう悩まない!~迷惑な勧誘電話の手口とその対処法~
	No.40	改正高年齢者雇用安定法について

CSR勉強会開催実績

年度	対象	参加数
2023年度	海外グループ会社*1	31社、1事業所/1,384名
2022年度	リンテック(株)	2,707名 (2022年3月に実施した伊奈テクノロジーセンターを含む)
	国内グループ会社*2	7社/363名 (2022年3月に実施したリンテックカスタマーサービス(株)を含む)

*1 海外グループ会社:琳得科(蘇州)科技有限公司、普林特科(天津)標簽有限公司、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(上海)社、リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(台湾)社、リンテック・ハイテック台湾社、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(台湾)社、リンテック・コリア社、リンテック・スペシャリティー・フィルムズ(韓国)社、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(韓国)社、リンテック・アジアパシフィック社、リンテック・シンガポール社、リンテック・インドネシア社、リンテック・ジャカルタ社、リンテック・タイランド社、リンテック・インダストリーズ(マレーシア)社、リンテック・インダストリーズ(サラワク)社、リンテック・クアラルンプール社、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(マレーシア)社、リンテック・ベトナム社、リンテック・ハノイ・ベトナム社、リンテック株式会社ハノイ事務所、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(フィリピン)社、リンテック・フィリピン(ペザ)社、リンテック・インディア社、リンテック・USAホールディング社、リンテック・オブ・アメリカ社、マックタック・アメリカ社、マディコ社、VDI社、リンテック・ヨーロッパ社、リンテック・ヨーロッパ(UK)社、リンテック・アドバンスト・テクノロジーズ(ヨーロッパ)社

*2 国内グループ会社:リンテックコマース(株)、リンテックサインシステム(株)、湘南リンテック加工(株)、リンテックサービス(株)、リンテックカスタマーサービス(株)、プリンテック(株)(現リンテックサインシステム(株)プリンテック事業部)、東京リンテック加工(株)